

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000340101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは自律神経系、内分泌系、骨と筋肉、生殖器官系、生体防御免疫系が中心となる。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)
評価方法	期末試験(100%)で判定する。
テキスト	解剖生理学 と同じ教科書を使用する。 解剖生理学 人体の構造と機能1、坂井建雄、岡田隆夫、医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	神経系の構造と機能 神経系の構造、興奮の伝導と伝達内臓機能の調節		
2	自律神経による調節		
3	内分泌による調節1 ホルモンの構造、視床下部、下垂体		
4	内分泌による調節2 甲状腺、膵臓、副腎、甲状腺・副甲状腺		
5	内分泌による調節3 ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節		
6	身体の支持と運動1 骨と筋の構造		
7	身体の支持と運動2 体幹、上肢、下肢、頭頸部の骨格と筋、身体の支持と運動		
8	身体の支持と運動3 筋の収縮		
9	情報の受容と処理1 中枢神経の構造と機能情報の受容と処理		
10	情報の受容と処理2 末梢神経の構造と機能		
11	情報の受容と処理3 脳の高次機能、運動機能、感覚機能		
12	情報の受容と処理4 特殊感覚の構造と機能		
13	身体機能の防御と適応1 皮膚の構造と機能、生体の防御機構		
14	身体機能の防御と適応2 体温とその調節		
15	生殖・発生と老化のしくみ生殖		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000390101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、人体の組織・器官の構造と機能の背景にある細胞活動および分子レベルの現象を学ぶ。 基礎医学と医療とのつながりを関連付けることができるようになる。
履修上の注意事項	高校生物の知識・理解に不安がある場合は、共通科目「ライフサイエンス」の受講を強く勧める。 授業には積極的に参加すること。 質問はオフィスアワー以外でも受け付ける。
評価方法	中間試験50%、単位修得試験50%。 フィードバックとして、希望者には試験の得点を開示する。
テキスト	「なるほどなっとく！解剖生理学」改訂2版(多久和典子・多久和陽、南山堂)
参考文献	「『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック」(坂井建雄・岡田隆夫、医学書院) 「栄養科学イラストレイテッド演習版解剖生理学ノート」第3版(志村二三夫・他、羊土社)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	器官・組織・細胞	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
2	細胞の構造と機能	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
3	生体膜の構造と機能	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
4	体液と浸透圧	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
5	膜電位と神経の興奮	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
6	細胞間情報伝達	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
7	細胞内情報伝達	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容を授業プリントとテキストでしっかりと復習しておくこと	
9	生体の恒常性	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
10	細胞分裂	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
11	細胞周期	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
12	生殖と発生	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
13	幹細胞と再生医療	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	遺伝と遺伝子	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
15	生体防御	他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

基本情報

科目名	生化学
時間割コード	1000400101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	生化学は諸々の生命現象を化学的に解明する学問であり、薬理学や栄養学と密接に関連している。本科目では、人体を構成する物質および生命現象の化学的基盤について学ぶ。基礎医学と医療とのつながりを関連付けることができるようになる。
履修上の注意事項	高校の化学に自信がない場合は共通科目「ライフサイエンス」の履修を強く勧める。ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。質問等、授業への積極的な参加を期待する。
評価方法	中間試験50%、単位習得試験50% フィードバックとして、希望者には試験の得点を開示する。
テキスト	栄養科学イラストレイテッド 生化学 第3版(藺田勝ら)(羊土社)
参考文献	栄養科学イラストレイテッド 生化学ノート 第3版(藺田勝ら)(羊土社)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人体の構成物質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
2	糖質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
3	脂質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
4	アミノ酸の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
5	タンパク質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
6	核酸の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
7	ビタミン	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容を授業プリントとテキストでしっかりと復習しておくこと	
9	ミネラル	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
10	酵素と酵素反応	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
11	糖質の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
12	脂質の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
13	タンパク質とアミノ酸の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
14	遺伝子とタンパク質合成	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
15	バイオテクノロジー	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0124201001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	ヒトと共生する常在菌叢の働き、ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し、さらに代表的な感染症について、その感染経路、症状、予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また、生体防御機構、各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに、耐性菌、新興感染症・再興感染症の出現、日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに、がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として、教科書を熟読する。『わかる!身につく!病原体・感染・免疫』(主に第1-6回に使用)、『コメディカルのための薬理学』-第1章,12章,13章-(第7-15回に使用)(約1時間) 2) 授業には指定教科書、ノート、プリントを持参する。講義内容を書留め、その日の内に復習する(約1時間)。 3) 講義プリントはファイルし、専門用語を正確に覚え、その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は、教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 配点: 第1~6回の講義 40%、第7~15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして、授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる!身につく!病原体・感染・免疫 第3版』 藤本 編, 南山堂3,080円 2) 教員作成プリント 3) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編, 朝倉書店 4,070円(薬理学でも使用する)
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4微生物学』南嶋 他著, 医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編, ヌーヴェルヒロカワ 3) 『シンプル薬理学 改訂第6版』野村 他編, 南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	病原微生物の分類と特性(構造、性質、病原性、感染機構)(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	細菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	真菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	ウイルスと感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	寄生虫・原虫と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	感染に対する生体防御機構(免疫系)、予防接種用薬(徳富)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
8	感染症に対する薬物(化学療法薬概論)、薬物動態(徳富)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	抗菌薬（抗生物質）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗菌薬（合成抗菌薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗結核薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗ウイルス薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0124300502
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学は、疾病を正常機能の破綻や調節機能の異常の観点から原因解明し、病理学は、疾病の原因、機序、診断を明らかにする学問である。病態生理学では、解剖生理学で学んだ人体の正常な仕組みに関する知識に基づき、疾病の成り立ちを基本的な機序に沿って整理する。さらに、その結果引き起こされる組織や臓器の変化に関する正しい知識を身につけ、各種疾患における病態生理や臨床症状を理解するための基礎を総論的に学ぶ。専門用語を正しく理解し、臓器ごとの各種疾患の成り立ちを理解するための基礎を身につける。正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。 3) 講義プリントはファイルし、毎回、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくること。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 筆記試験(100%)で、正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できるかを評価する。 2) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [1]「病理学」大橋健一ほか著、医学書院
参考文献	1) なるほどなっとく!病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版、小林 著、南山堂 2) シンプル病理学 改訂第8版。笹野 他編、南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	病理学で学ぶこと、病気の原因(内因、外因)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	細胞・組織の障害と修復	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	循環障害 : 局所性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	循環障害 : 全身性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	炎症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	免疫と免疫不全	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	アレルギーと自己免疫疾患、移植と再生医療	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
8	感染症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
9	代謝障害 : 脂質代謝障害、タンパク質代謝障害	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	代謝障害：糖代謝障害、そのほかの代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	老化と死	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	先天異常と遺伝子異常	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	腫瘍：腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	腫瘍：腫瘍の発生病理	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	腫瘍：腫瘍の診断と治療、腫瘍の統計	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0124300601
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大河原 進
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

担当教員情報

教員名	
大河原 進	

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくる。復習も必ず行うこと。解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性(5%)、筆記試験(95%)で総合的に評価する。60点以上を合格とする。フィードバックとして、評価終了後に試験問題の解答例を公開する。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	「臨床病態学1、2、3」北村聖 総編集、NOUVELLE HIROKAWA
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員として大学勤務経験 医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	呼吸器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
2	呼吸器 呼吸器感染症、アレルギー、慢性閉塞性疾患、間質性肺疾患、気道系疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
3	呼吸器 腫瘍、肺循環疾患、換気異常、呼吸不全、胸膜疾患、縦隔疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
4	循環器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	循環器 心不全、不整脈、心筋疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	循環器 心臓弁膜症、先天性心疾患、高血圧症、動脈疾患、静脈疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	消化管 症候、検査と治療、食道の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	消化管 胃・十二指腸の疾患、大腸の疾患、肛門の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	肝・胆・膵 症候、検査と治療、肝臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	肝・胆・膵 胆道疾患、膵臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	代謝・栄養 症候、検査と治療、糖尿病他の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	内分泌 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	内分泌 視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	腎・泌尿器 症候、検査と治療	<p>事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと (2時間)</p> <p>事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む (2時間)</p>	
15	腎・泌尿器 腎疾患、泌尿器疾患、腎不全	<p>事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと (2時間)</p> <p>事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む (2時間)</p>	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0124300701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大河原 進
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(生体の科学)

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学 に引き続き、臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくる。復習も必ず行うこと。 解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性(5%)、筆記試験(95%)で総合的に評価する。60点以上を合格とする。 フィードバックとして、評価終了後に試験問題の解答例を公開する。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	「臨床病態学1、2、3」北村聖 総編集、NOUVELLE HIROKAWA
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員として大学勤務経験 医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	脳・神経 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
2	脳・神経 脳血管障害、神経変性疾患、中枢神経系の脱髄性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
3	脳・神経 末梢神経等の疾患、筋疾患、感染症、機能的疾患、腫瘍	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
4	血液 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	血液 赤血球の疾患、白血球の疾患、出血性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	膠原病・アレルギー 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	膠原病・アレルギー 膠原病と関連疾患、アレルギー性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	運動器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	運動器 外傷、骨折、脱臼、捻挫	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	運動器 脊椎・脊髄の疾患、上肢・下肢の疾患、腫瘍、末梢神経麻痺	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	女性生殖器 月経困難症、子宮内膜症、腫瘍、更年期障害、不妊症	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	眼 症候、検査と治療、結膜炎、緑内障、白内障、糖尿病性網膜症	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	耳鼻咽喉 症候、検査と治療、中耳炎、めまい/難聴、副鼻腔炎、腫瘍	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	皮膚 症候、検査と治療、皮膚炎、色素性母斑、熱傷、褥瘡	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
15	精神 症候、検査と治療、統合失調症、うつ病、双極性障害	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0124201170
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

詳細情報

授業の目的・到達目標	薬物とは、恒常性（ホメオスタシス）の破綻による生体機能の異常（病態）を正常範囲に戻そうとする目的で、疾病の治療・予防・診断に用いられる化学物質である。日進月歩の薬物療法が、医療・保健・福祉の現場で適正かつ有効に行われているか判断できるよう、各種薬物を系統的に把握し理解する。基本的な薬理学の知識に基づく論理的思考力を駆使して、副作用の発現防止に寄与するための応用力を身につける。薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（1時間程度）。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（1時間程度）。 3) 講義プリントはファイルし、薬理学授業時に、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 学期末の本試験（100%：筆記試験）で評価する。前提条件は2/3以上の出席。 2) 「薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できる」を評価基準とする。 3) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編，朝倉書店 4,070円（感染症学でも使用） 2) 教員作成プリント
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』吉岡 他著，医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編，ヌーヴェルヒロカワ 3) 『今日の治療薬2021』浦部他編，南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	薬理学総論（薬物療法、関係法規、薬物の作用点）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	薬理学総論（薬物相互作用）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	薬理学総論（薬物動態）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	薬理学総論（年齢・臓器障害等による薬物動態変化、剤形）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	末梢神経系作用薬（交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	末梢神経系作用薬（副交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	末梢神経系作用薬（筋弛緩薬、局所麻酔薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	循環器系作用薬（抗不整脈薬、心不全治療薬、狭心症治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	循環器系作用薬（高血圧治療薬、末梢血管作用薬、利尿薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	中枢神経系作用薬（全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ・躁薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
11	中枢神経系作用薬 (抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、麻薬性鎮痛薬、中枢興奮薬)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
12	炎症・免疫疾患に対する薬物 (抗炎症・抗アレルギー薬、免疫抑制薬、免疫増強薬)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
13	呼吸器系疾患に対する薬物 (気管支喘息治療薬、COPD治療薬、鎮咳・去痰薬)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
14	消化器系疾患に対する薬物 (消化性潰瘍治療薬, 他), 泌尿器系疾患に対する薬物 (排尿障害治療薬)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	
15	代謝・内分泌系疾患に対する薬物 (糖尿病治療薬、痛風治療薬、他)	教科書の予習・講義の復習 (それぞれ2時間程度)	

基本情報

科目名	看護学概論
時間割コード	1000290101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護専門職としての自己の健康観、看護観を追及するために必要となる知識、概念を理解する。看護の対象および看護の提供、歴史・制度および将来の専門職の展望に関する知識から看護学について理解する。保健・医療・福祉専門職者として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	課題について考え、レポートを提出する。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習（各2時間）について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。教科書の精読、レポート作成に要する時間は60分である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%。 フィードバックとして小テストは問題を確認することで学習に役立て、レポートは返却する。
テキスト	『系統看護学講座 基礎看護学（1）』茂野香おる 他（医学書院）
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等における看護師、保健師、学校における養護教諭の実務経験者である。

授業計画

授業計画
看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護学概論とは（柴田）	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	人間の欲求と健康、健康のとらえ方（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	国民の健康状態（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	看護の対象の理解（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	サービスとしての看護・看護サービス提供の場（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	災害時における看護（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	小テスト1、ナイチンゲールについて（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。事後学習はナイチンゲールについて学習したことをまとめる。	

授業計画

看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	医療安全と医療の質保証（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	看護職者の教育とキャリア開発、看護職の養成制度の課題（赤峰）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は養成制度の特徴を確認する。	
10	看護における倫理（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護倫理からの学びを基に自己の課題を明らかにする。	
11	国際化と看護（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	看護とはなにか（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護の定義をまとめる。	
13	小テスト2、看護の理論家について学習（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。	
14	職業としての看護・看護職者の養成制度と就業状況（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	グループワーク：医療職者における専門性、学習のまとめ（柴田）	事前学習は医療職者の専門性について調べる。事後学習は専門性を高めるための自己の課題を明らかにする。	

基本情報

科目名	看護技術
時間割コード	1000410102
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2, 金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元	

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護技術の対象となる生活者の理解を通して、看護実践に必要な基礎的援助技術を学び、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	講義、グループワーク、課題学習および発表、技術演習という学習方法によって学習を深める。第1回目のオリエンテーション時に「学習の進め方」で授業前・後の学習について説明をする。到達目標と自己評価を設定しているため、学習前後で確認する。また、事前・事後学習の課題はノート作成をすることで実施する。事前・事後学習およびノート作成にかかる時間は60分から90分である。
評価方法	定期試験(筆記)：60%、学習態度・状況(小テスト、レポート提出、実技試験)：40% フィードバックとして事前・事後課題および作成したノートは、演習前に返却し、コメント内容については演習時あるいは演習後に確認する。
テキスト	『基礎看護技術』有田清子他(医学書院) 『看護がみえる1 基礎看護技術』(メディックメディア) 『看護がみえる2 臨床看護技術』(メディックメディア) 『ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める』三上れつ・小松万喜子(南江堂) 『改訂版 パワーアップ問題演習基礎看護学 第2版』山口瑞穂子(サイオ出版)
参考文献	『1分わかる基礎看護技術』、『なぜ?がわかる・看護技術LESSON』、『臨床看護技術が1』、『考える基礎看護技術』、『ビジュアル看護技術・基礎看護技術』、『基礎看護学テキスト』、『看護技術プラティス』、『基礎・臨床看護技術』、『実践に役立つ看護過程と看護診断』、『ナシガ・ワーク』
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	上妻・古堅・古江・赤峰：看護師として病院勤務経験、柴田：養護教諭として実務経験

授業計画

授業計画	
看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、コミュニケーション(柴田)	オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡する。	
2	環境調整技術(柴田)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	活動と休息援助技術(古堅)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	排泄援助技術(古江)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	食事援助技術（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	清潔援助技術（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	感染予防の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
8	衣生活援助技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	ヘルスアセスメント（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	バイタルサイン（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	安全確保の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	苦痛の緩和・安楽確保の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	看護過程とは（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
14	看護過程：看護記録（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	学習のまとめ、看護過程（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
16	コミュニケーション（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
17	手洗い、ベッドメイキング（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
18	体位変換、移送（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
19	排泄介助（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
20	食事介助（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
21	ヘッドメイキング、記録の確認（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
22	陰部ケア・口腔ケア（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
23	清拭（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
24	無菌操作・滅菌物の取り扱い（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
25	臥床患者のリネン交換（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
26	バイタルサイン（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
27	褥瘡、記録の確認（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
28	実技テスト（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
29	洗髪（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
30	観察と報告：バイタルサイン（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	看護技術
時間割コード	1000410101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3, 金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護技術の対象となる生活者の理解を通して、看護実践に必要な基礎的援助技術を学び、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	講義、グループワーク、課題学習および発表、技術演習という学習方法によって学習を深める。第1回目のオリエンテーション時に「学習の進め方」で授業前・後の学習について説明をする。到達目標と自己評価を設定しているため、学習前後で確認する。また、事前・事後学習の課題はノート作成をすることで実施する。事前・事後学習およびノート作成にかかる時間は60分から90分である。
評価方法	定期試験(筆記): 60%、学習態度・状況(小テスト、レポート提出、実技試験): 40% フィードバックとして事前・事後課題および作成したノートは、演習前に返却し、コメント内容については演習時あるいは演習後に確認する。
テキスト	『基礎看護技術』有田清子他(医学書院) 『看護がみえる1 基礎看護技術』(メディックメディア) 『看護がみえる2 臨床看護技術』(メディックメディア) 『ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める』三上れつ・小松万喜子(南江堂) 『改訂版 パワーアップ問題演習基礎看護学 第2版』山口瑞穂子(サイオ出版)
参考文献	『イラストでわかる基礎看護技術』、『なぜ?がわかる・看護技術LESSON』、『臨床看護技術が1つ』、『考える基礎看護技術』、『ビジュアル看護技術・基礎看護技術』、『基礎看護学テキスト』、『看護技術プラティス』、『基礎・臨床看護技術』、『実践に役立つ看護過程と看護診断』、『ナシグ・ワークアップ』
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	上妻・古堅・古江・赤峰: 看護師として病院勤務経験、柴田: 養護教諭として実務経験

授業計画

授業計画
看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、コミュニケーション(柴田)	オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡する。	
2	環境調整技術(柴田)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	活動と休息援助技術(古堅)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	排泄援助技術(古江)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	食事援助技術(古堅)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	清潔援助技術(赤峰)	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	感染予防の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
8	衣生活援助技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	ヘルスアセスメント（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	バイタルサイン（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	安全確保の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	苦痛の緩和・安楽確保の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	看護過程とは（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
14	看護過程：看護記録（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	学習のまとめ、看護過程（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
16	コミュニケーション（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
17	手洗い、ベッドメイキング（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
18	体位変換、移送（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
19	排泄介助（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
20	食事介助（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
21	ベッドメイキング、記録の確認（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
22	陰部ケア・口腔ケア（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
23	清拭（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
24	無菌操作・滅菌物の取り扱い（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
25	臥床患者のリネン交換（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
26	バイタルサイン（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
27	電法、記録の確認（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
28	実技テスト（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
29	洗髪（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
30	観察と報告：バイタルサイン（基礎担当者）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	看護技術
時間割コード	1000420101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	上妻 尚子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護の対象者に、安全・安楽な看護援助を実践するための日常生活援助技術および診療の補助技術に関する基本的な知識および技術を理解できる。
履修上の注意事項	演習時は、実習要項に準じて身だしなみを整えて参加してください。身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できないことがあります。演習は、2~3グループに分かれて実施します。詳細は別途説明します。 毎回の講義および演習の際には、別途配布する「看護技術学習ガイド」に、看護技術の学習状況を記録し、自身の看護技術の習得状況を確認してください。
評価方法	定期試験：60%、実技試験・小テスト・学習態度(演習記録の提出を含む)：40% フィードバックとして、提出された演習時の記録に対して、様式や内容について随時指導する。講義内で小テストを実施する。小テストは終了後に解説する。
テキスト	「系統看護学講座 基礎看護技術」有田清子(医学書院) 「看護技術がみえる」(Medic Media) 「パワーアップ問題集 基礎看護学」山口瑞穂子(サイオ出版) 「ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版」三上れつ・小松万喜子、(南江堂)
参考文献	「写真でわかる基礎看護技術」インターメディカ、 「ビジュアル臨床看護技術」照林社、 「看護技術プラクティス」学研 「基礎・臨床看護技術」医学書院 他
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻尚子、古堅裕章、古江佳織、赤峰隆元：看護師として病院勤務経験 柴田恵子：養護教諭として学校勤務経験。

授業計画

授業計画	
看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修(各2時間)については、別途掲示あり	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義：症状・生体機能管理技術-検体検査-(柴田)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、検体検査に関する技術についてノートに整理する(2時間)。	
2	講義：創傷管理技術(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、創傷管理技術についてノートに整理する(2時間)。	
3	講義：食事の援助技術(経管栄養法・中心静脈栄養)(古堅)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、食事の援助技術についてノートに整理する(2時間)。	

授業計画

看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修（各2時間）については、別途掲示あり

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	講義：排泄の援助技術(浣腸・導尿・ストーマケア)(古江)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、排泄の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
5	講義：与薬の援助技術の基礎(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術の基本知識についてノートに整理する（2時間）。	
6	講義：与薬の援助技術の実際 経口与薬・経皮与薬・直腸内与薬・点眼・点鼻・注射・輸血(赤峰)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
7	講義：呼吸・循環を整える技術（酸素療法・吸入）（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、酸素療法や吸入の技術についてノートに整理する（2時間）。	
8	講義：呼吸・循環を整える技術（口腔・鼻腔内吸引、気管内吸引、排痰ケア）（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、吸引や排痰ケアの技術についてノートに整理する（2時間）。	
9	小テスト 講義：呼吸・循環を整える技術（末梢循環促進ケア・人工呼吸療法）（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、呼吸循環を整える技術についてノートに整理する（2時間）。	
10	講義：症状・生体情報モニタリングの技術(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、症状・生体情報モニタリング技術についてノートに整理する（2時間）。	
11	講義：診察・検査・処置の介助技術（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、診察・検査・処置の介助技術についてノートに整理する（2時間）。	
12	講義：救命救急処置術（上妻）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、救命救急処置術についてノートに整理する（2時間）。	
13	講義：死の看取りの技術（柴田）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、市の見取りの技術についてノートに整理する（2時間）。	
14	講義：看護過程 全体像の作成(柴田)		
15	講義：看護過程まとめ 看護記録(柴田)		

授業計画

看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修（各2時間）については、別途掲示あり

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
16	演習：創傷管理技術（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
17	演習：採血（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
18	演習：経管栄養（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
19	演習：記録の書き方 グループワーク（担当者全員）	事前：これまでの演習に関する記録を整理する（2時間） 事後：グループワークでの学びを基に、自分のこれまでの記録を振り返り、今後の記録の書き方について具体的な方法をノートにまとめる（2時間）	
20	演習：皮下注射（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
21	演習：洗腸・排便（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
22	演習：直腸内与薬 筋肉注射（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
23	演習：酸素療法（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
24	演習：口腔内・気管内吸引（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
25	演習：導尿（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
26	演習：フィジカルイグザミネーション（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
27	演習：フィジカルアセスメント（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
28	実技試験（担当者全員）	事前：1学期の学習内容およびフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメントの演習での学びを基に実技試験の実施方法を考える（2時間） 事後：自分が実施した実技試験内容を振り返り、技術の習得に向けての今後の課題を明確にする（2時間）	
29	看護過程 計画立案（担当者全員）		
30	看護過程 計画の評価と修正（担当者全員）		

基本情報

科目名	看護技術
時間割コード	1000420102
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	上妻 尚子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護の対象者に、安全・安楽な看護援助を実践するための日常生活援助技術および診療の補助技術に関する基本的な知識および技術を理解できる。
履修上の注意事項	演習時は、実習要項に準じて身だしなみを整えて参加してください。身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できないことがあります。演習は、2~3グループに分かれて実施します。詳細は別途説明します。 毎回の講義および演習の際には、別途配布する「看護技術学習ガイド」に、看護技術の学習状況を記録し、自身の看護技術の習得状況を確認してください。
評価方法	定期試験：60%、実技試験・小テスト・学習態度(演習記録の提出を含む)：40% フィードバックとして、提出された演習時の記録に対して、様式や内容について随時指導する。講義内で小テストを実施する。小テストは終了後に解説する。
テキスト	「系統看護学講座 基礎看護技術」有田清子(医学書院) 「看護技術がみえる」(Medic Media) 「パワーアップ問題集 基礎看護学」山口瑞穂子(サイオ出版) 「ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版」三上れつ・小松万喜子、(南江堂)
参考文献	「写真でわかる基礎看護技術」インターメディカ、 「ビジュアル臨床看護技術」照林社、 「看護技術プラクティス」学研 「基礎・臨床看護技術」医学書院 他
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻尚子、古堅裕章、古江佳織、赤峰隆元：看護師として病院勤務経験 柴田恵子：看護教諭として学校勤務経験。

授業計画

授業計画	
看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修については、別途掲示あり	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義：症状・生体機能管理技術-検体検査-(柴田)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、検体検査に関する技術についてノートに整理する(2時間)。	
2	講義：創傷管理技術(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、創傷管理技術についてノートに整理する(2時間)。	
3	講義：食事の援助技術(経管栄養法・中心静脈栄養)(古堅)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、食事の援助技術についてノートに整理する(2時間)。	

授業計画

看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修については、別途掲示あり

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
4	講義：排泄の援助技術(浣腸・導尿・ストーマケア)(古江)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、排泄の援助技術についてノートに整理する(2時間)。	
5	講義：与薬の援助技術の基礎(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術の基本知識についてノートに整理する(2時間)。	
6	講義：与薬の援助技術の実際 経口与薬・経皮与薬・直腸内与薬・点眼・点鼻・注射・輸血(赤峰)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する(2時間)。	
7	講義：呼吸・循環を整える技術(酸素療法・吸入)(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、酸素療法や吸入の技術についてノートに整理する(2時間)。	
8	講義：呼吸・循環を整える技術(口腔・鼻腔内吸引、気管内吸引、排痰ケア)(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、吸引や排痰ケアの技術についてノートに整理する(2時間)。	
9	小テスト 講義：呼吸・循環を整える技術(末梢循環促進ケア・人工呼吸療法)(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、呼吸循環を整える技術についてノートに整理する(2時間)。	
10	講義：症状・生体情報モニタリングの技術(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、症状・生体情報モニタリング技術についてノートに整理する(2時間)。	
11	講義：診察・検査・処置の介助技術(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、診察・検査・処置の介助技術についてノートに整理する(2時間)。	
12	講義：救命救急処置術(上妻)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、救命救急処置術についてノートに整理する(2時間)。	
13	講義：死の看取りの技術(柴田)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする(2時間) 事後：講義内容及び配布資料を基に、市の見取りの技術についてノートに整理する(2時間)。	
14	講義：看護過程 全体像の作成(柴田)		
15	講義：看護過程まとめ 看護記録(柴田)		

授業計画

看護過程の講義および演習に関する事前・事後学修については、別途掲示あり

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
16	演習：創傷管理技術（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
17	演習：採血（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
18	演習：経管栄養（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
19	演習：記録の書き方 グループワーク（担当者全員）	事前：これまでの演習に関する記録を整理する（2時間） 事後：グループワークでの学びを基に、自分のこれまでの記録を振り返り、今後の記録の書き方について具体的な方法をノートにまとめる（2時間）	
20	演習：皮下注射（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
21	演習：洗腸・排便（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
22	演習：直腸内与薬 筋肉注射（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
23	演習：酸素療法（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
24	演習：口腔内・気管内吸引（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
25	演習：導尿（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
26	演習：フィジカルイグザミネーション（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
27	演習：フィジカルアセスメント（担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
28	実技試験（担当者全員）	事前：1学期の学習内容およびフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメントの演習での学びを基に実技試験の実施方法を考える（2時間） 事後：自分が実施した実技試験内容を振り返り、技術の習得に向けての今後の課題を明確にする（2時間）	
29	看護過程 計画立案（担当者全員）		
30	看護過程 計画の評価と修正（担当者全員）		

基本情報

科目名	臨床看護学総論
時間割コード	1000440101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.健康障害をもつ人および健康上のニーズをもつ人の看護について理解する。2.健康障害の「経過」に焦点をあて、患者の理解と必要な看護を学習する。3.主要な症状の治療・処置についての理解を深め、必要な看護を学習する。4.臨床看護についての学びを総括し、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につけるための自己の課題を明らかにする。
履修上の注意事項	看護過程の学習は、同時期に開講される「看護技術」の授業計画に合わせて行われるので、両方の科目の計画を確認してください。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習は事前に各自が行なってくる。課題は授業の予習でもあるので、必ずレポートを作成することで課題を実施する。小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。課題学習、レポート作成に要する時間は2時間である。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出）：40%。 フィードバックとして小テストは問題を確認することで学習に役立て、レポートは返却する。
テキスト	系統看護学講座 臨床看護総論、香春知永 他（医学書院）
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上妻・古堅・古江・赤峰：病院、施設等での看護師、保健師の実務経験、柴田：学校での養護教諭の実務経験を有す。

授業計画

授業計画	
臨床看護について学ぶことで、看護の必要性の理解を深める。また、主要な症状の処置・治療についての学びを、看護過程の展開において活用する。オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、健康上のニーズをもつ生活者と家族(柴田)	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認する。	
2	主要症状を示す患者の看護：痛み、呼吸障害(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
3	主要症状を示す患者の看護：意識障害、グループワーク(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
4	主要症状を示す患者の看護：循環障害(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
5	主要症状を示す患者の看護：消化・排泄障害(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
6	小テスト1、症状と看護について(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
7	健康状態の経過に基づく看護(柴田)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
8	治療・処置を受けている患者の看護：創傷処置、集中療法(古江)	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	

授業計画

臨床看護について学ぶことで、看護の必要性の理解を深める。また、主要な症状の処置・治療についての学びを、看護過程の展開において活用する。オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	治療・処置を受けている患者の看護：輸液療法、化学療法（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
10	治療・処置を受けている患者の看護：放射線療法・手術療法（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
11	看護過程：アセスメント（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
12	小テスト2、看護過程：情報整理（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
13	看護過程：これまでの学習のまとめとグループ発表（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
14	看護過程：看護計画の立案（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
15	まとめ：臨床看護学総論の学びの実践での活かし方（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	

基本情報

科目名	看護マネジメント
時間割コード	0124303901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名	
福島 和代	

詳細情報

授業の目的・到達目標	質の高い看護を提供するための看護サービスのしくみやサービスを提供する専門職として必要な看護マネジメントの基礎知識を習得し、自分のキャリア発達について考えることができる。
履修上の注意事項	教科書で事前学習をし(90分)、事後も講義資料と照らし合わせて復習をすること(90分)。グループワークでは、地域のニーズに応じた理想の病院づくりを行なうが、事前に就職パンフレットや病院ホームページから情報収集して望むこと(90分)。将来働きたい病院を想定し、既成概念にとらわれない自由な発想を重んじる。
評価方法	評価基準は「課題レポート90%、発表10%」とし60点以上を合格とする。フィードバックとして、必要に応じてコメントする。
テキスト	系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践〔1〕第10版 2020年 医学書院
参考文献	系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践〔2〕第4版 2018年 医学書院。 小池智子,松浦生子,中西睦子編 看護サービス管理 第5版 2018年 医学書院。 井部俊子監修:看護管理学習テキスト 第3版 第1~5巻 2019年・別巻 2020年 日本看護協会出版会
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福島 和代:看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>看護におけるマネジメントは、対象者に提供する最適なケアを調整・展開・評価することであり、そのための一連の活動である。対象者に提供される看護ケアのマネジメントと看護職が提供するサービス全体を組織としてとらえて提供する看護サービスのマネジメントがある。</p> <p>新人看護師であっても組織の一員として、専門職としての役割・責任が求められる。看護サービスを提供する専門職として必要な基礎知識を習得し、病院づくりのグループダイナミクスを通して自分のキャリア発達について考える。</p> <p>日時についての変更は、別途スケジュールを提示する。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護マネジメントとは マネジメントのプロセス	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
2	看護管理過程 看護管理の歴史	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
3	組織の成り立ちと構造	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
4	看護のケア提供システム	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
5	医療関係職種とチーム医療	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
6	看護サービスと質の保障	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
7	リスクマネジメント(安全管理)	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
8	リスクマネジメント(感染管理) リーダーシップとメンバーシップ	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
9	専門職と法・倫理	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	
10	キャリア発達 レポート課題提示	事前:教科書で予習 事後:講義を含めて復習する	

授業計画

看護におけるマネジメントは、対象者に提供する最適なケアを調整・展開・評価することであり、そのための一連の活動である。対象者に提供される看護ケアのマネジメントと看護職が提供するサービス全体を組織としてとらえて提供する看護サービスのマネジメントがある。

新人看護師であっても組織の一員として、専門職としての役割・責任が求められる。看護サービスを提供する専門職として必要な基礎知識を習得し、病院づくりのグループダイナミクスを通して自分のキャリア発達について考える。

日時についての変更は、別途スケジュールを提示する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	医療制度と政策・診療報酬制度	事前：教科書で予習 事後：講義を含めて復習する	
12	グループワーク1：病院づくり（地域のニーズ、病院組織の理念、規模）	事前：参考になる病院のHPで理念や特徴等を調べ持参する 事後：時間内でできなかったことについて話し合い、次回の準備をする	
13	グループワーク2：病院づくり（どんな看護師を育てたいか）	事前：参考になる病院のHPで看護部の教育体制等を調べ持参する 事後：時間内でできなかったことについて話し合い、次回の準備をする	
14	グループワーク3：病院づくり（看護師のキャリア開発のためのシステム）	事前：参考になる病院のHPで看護部のキャリア開発（ラダーも含む）等を調べ持参する 事後：時間内でできなかった発表準備等を行う（分担等も決める）	
15	グループワーク4：病院づくり（全体発表、プレゼンテーション）	事前：発表準備を行う。 事後：講義やグループワークを参考に課題についてレポートし期限までに提出する	

基本情報

科目名	小児看護学
時間割コード	0124301301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
松岡 聖美、鎌田 晃子、二宮 球美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 子どもを取り巻く社会環境の変化について学び、説明することができる。2. 多様化する子どもと家族の健康ニーズについて理解できる。3. 健全な子どもの特性、および成長発達過程を理解できる。
履修上の注意事項	1年次の専門科目medical scienceなどの知識及び他の看護学の学習との関連なども含めて講義を進めます。各個人に必要な事前学習は最低指定ページを読むこと、講義資料を読むこと。(1~2時間)、事後学習は、事後の配布資料及び関連DVD視聴や引用文献の確認、スケールを覚えることなど(1~2時間)別途事前・事後課題及び課題レポートが提示される(計30時間程度)。Campussquareに掲示される情報に注意すること。事前・事後学習を大いに活用すること。副教材に関しては事前に渡すことを目標とする。小児看護学は既修専門及び共通科目と関連しているため、既修科目との統合をはかることも事前学習とする。小児看護実習、看護統合演習で、小児看護学の理論と実践の統合をはかることを前提に、事後の復習は科学的を根拠とする小児看護学として理解できるレベルを求める。
評価方法	単位取得資格:2/3以上の出席が前提。 1. 定期試験 60%、小テスト20% 2. Report及び演習実施・Report及び事前事後課題 20%として産出する。 評価のフィードバックについては、各小テストに際しては、正解の提示及び質疑応答を個別で設定する、定期試験においては個別での質疑応答の時間設定を行う。Reportに関しては、授業の際に概要を学生全体に伝え、個別対応は科目の質問時間での対応とする。
テキスト	小児看護学 小児看護概論小児保健、小児看護学 健康障害を持つ小児の看護 編集松尾宣武、濱中嘉代 メヂカルフレンド社、ナーシンググラフィカ小児看護学 小児看護技術 編集中野綾美 メディカ出版
参考文献	「看護診断ハンドブック」 リンダ・カルペニート=モイエ著 医学書院、小児看護技術編集今野美紀、二宮啓子、南江堂、こどもの病気の地図帳、監修鴨下重彦、柳澤正義、講談社 講義中に配布される印刷教材、指定DVD
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	科目責任者 二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する 科目担当者 松岡聖美 看護師として病院勤務経験を有する 鎌田晃子 看護師として病院勤務経験を有する 2名が主となり科目を担当していく 専門看護師小児専門看護である鎌田晃子先生より、NICUにおける看護を通して小児専門看護師としての役割を講義

授業計画

授業計画
1年次のbasic scienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。 常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

1年次のbasicscienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。

常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	小児看護学概論、小児とは、子どもの権利と家族、子ども虐待の理解ができる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
2	Physical Assessment が説明できる（松岡）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
3	子どもを取り巻く社会、小児の観察、成長発達の一般原則と評価を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
4	子どもの遊びと行動 GW（二宮、松岡）	初回に提示される課題をもとに、Workで何を導き出すか準備してくる。	GW記録提出（場合によってはzoom）
5	こどもの成長発達と事故の特徴を知り、看護を予測できる（二宮、松岡）	事前ビデオ課題を視聴し、個人の意見をまとめておく。その根拠としての成長発達のツール及び事故の傾向をテキストで確認しておく	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
6	小児に関わる理論を学び小児看護を学ぶ際に考えることができる（松岡）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
7	看護過程演習1事例の情報収集を体験する 事例のassessment（成長発達）（二宮、松岡）	看護過程の事例はオリエンテーション時に提示、グループ編成は当日発表、指示されたところまで個人ワークを行っていくこと	看護過程グループワークの記録は当日提出、個人記録については別途指示 Campussquareに提出
8	看護過程演習1事例の情報収集を体験する 事例のassessment（現症）を体験する（二宮、松岡）	看護過程の事例はオリエンテーション時に提示、グループ編成は当日発表、指示されたところまで個人ワークを行っていくこと	看護過程グループワークの記録は当日提出、個人記録については別途指示 Campussquareに提出
9	技術演習 おむつ交換、着脱、抱っこの経験技術演習 栄養摂取離乳食の実際と与薬（二宮、松岡）	技術演習の内容については参考テキストで学習をし、指定の様式に記載後演習に臨むこと。演習時の詳細は別途掲示	実習にふさわしい服装で臨むこと。他者評価などもあるので、準備に相当の時間を要する。
10	技術演習 おむつ交換、着脱、抱っこの経験技術演習 栄養摂取離乳食の実際と与薬（二宮、松岡）	技術演習の内容については参考テキストで学習をし、指定の様式に記載後演習に臨むこと。演習時の詳細は別途掲示	実習にふさわしい服装で臨むこと。他者評価などもあるので、準備に相当の時間を要する。
11	健康レベルに応じたFamily Centered Care を理解する（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
12	NICUから在宅へ 子どもの生活の視点から（鎌田、二宮）	講義資料掲示は直前になる可能性あり関連項目の学習をしておくこと	講義後レポート課題あり
13	運動機能障害の観察の視点、ハンディキャップのある子どもへのCareを理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
14	Preparation課題学習をもとに、ディストラクションなどを理解する（二宮、松岡）	オリエンテーション時にグループ編成、内容の指示がある。それに準じてグループでの進捗を計画すること。発表に関しては事前に掲示あり。	

授業計画

1年次のbasicscienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。

常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	Preparation課題学習をもとに、ディス トラクションなどを理解する（二宮、松 岡）	オリエンテーション時にグループ編成、 内容の指示がある。それに準じてグルー プでの進捗を計画すること。発表に関し ては事前に掲示あり。	グループワークの成果提 出等の指示は別途あり。 評価表提出もある。

基本情報

科目名	小児看護学
時間割コード	0124301401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 小児における主な疾患とその発達段階における特徴及びその疾患を持つ子どもの家族・社会的看護について 学び説明できる 2. 子どもの権利を尊重し、健康の増進及び疾病の予防についての看護を学び説明できる
履修上の注意事項	1年次の専門科目medical scienceなどの知識及び他の看護学の学習との関連なども含めて講義を進めます。各個人に必要な事前学習は最低指定ページを読むこと、講義資料を読むこと。(1~2時間)、事後学習は、事後の配布資料及び関連DVD視聴や引用文献の確認、スケールを覚えることなど(1~2時間)別途事前・事後課題及び課題レポートが提示される(計30時間程度)。Campussquareに掲示される情報に注意すること。事前・事後学習を大いに活用すること。副教材に関しては事前に渡すことを目標とする。小児看護学2は既修専門及び共通科目と関連しているため、既修科目との統合をはかることも事前学習とする。小児看護学 の履修を前提に、小児看護実習、看護統合演習で、小児看護学の理論と実践の統合をはかることを前提に、事後の復習は科学的を根拠とする小児看護学として理解できるレベルを求める。
評価方法	単位取得資格:2/3以上の出席。 1. 定期試験 60%、小テスト20% 2. Report及び演習実施・Report、事前事後課題 20% 評価のフィードバックについては、各小テストに際しては、正解の提示及び質疑応答を個別で設定する、定期試験においては個別での質疑応答の時間設定を行う。Reportに関しては、授業の際に概要を学生全体に伝え、個別対応は科目の質問時間での対応とする。
テキスト	小児看護学 小児看護学概論小児保健 小児看護学 健康障害を持つ小児の看護 編集 松尾宣武、濱中嘉代 メディカルフレンド社、ナーシンググラフィカ 小児看護学 小児看護技術 編者 中野綾美 メディカ出版
参考文献	監修川野雅資編集中心仲枝、PILAR、小児疾患診療のための病態生理1・2、第4版東京医学社、小児内科増刊、城ヶ端初子監修、実践に生かす看護倫理、他解剖生理学学生化学等、新生児・小児疾患 中山書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	科目責任者 二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する 科目担当者 松岡聖美 看護師として病院勤務経験を有する

授業計画

授業計画	
1年次のbasicscienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。 常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	Orientation、染色体・先天代謝異常、新生児疾患とその看護を事例を通して理解できる(二宮)	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
2	呼吸器疾患、循環器疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる (松岡)	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。

授業計画

1年次のbasicscienceをもとに、こどもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、こどもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。

常にこどもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象であるこどもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	呼吸器疾患、循環器疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（松岡）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
4	看護過程演習 情報のassessment関連 函 看護問題抽出が紙上でできる(二宮、松岡)	看護過程の事例はオリエンテーション時に提示、グループ編成は当日発表、指示されたところまで個人ワークを行ってこ	
5	看護過程演習 看護問題から看護診断へ 看護計画が紙上でできる(二宮、松岡)	看護過程の事例はオリエンテーション時に提示、グループ編成は当日発表、指示されたところまで個人ワークを行ってこ	
6	血液疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
7	消化器疾患、腎疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
8	技術演習 ネブライザー吸入の援助を体験する(二宮、松岡)	技術演習の内容については参考テキストで学習をし、指定の様式に記載後演習に臨むこと。演習時の詳細は別途掲示	実習にふさわしい服装で臨むこと。他者評価もあるため、準備を入念にすること。
9	消化器疾患、腎疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
10	内分泌疾患、代謝異常疾患を持つ患児の事例を通して看護を理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
11	膠原病・アレルギー疾患・感染症、境界領域疾患を持つ患児の看護を事例を通して理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
12	膠原病・アレルギー疾患、感染症、境界領域疾患を持つ患児の看護を事例を通して理解できる（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
13	脳神経、筋肉・骨疾患を持つ患児の看護を事例を通して理解できる（松岡）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。
14	小児の救急とその看護、災害に遭遇した小児と家族の看護を事例を通して理解できる、他（二宮）	Campussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。

授業計画

1年次のbasic scienceをもとに、子どもについて知り、未熟性を細胞学的に理解し、成長発達における内・外環境を踏まえ関係性の有用性を知り、対象に応じた自立を目指して、子どもの権利を守るケアとは何かを考えることを前提に授業を展開する。

常に子どもの人権や家族の権利など倫理を配慮した看護を考え、対象である子どもの成長発達を促す関わりを考えることができるための組み立てである。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	子どもの健康と保健を理解する（二宮）	事前事後学習については約1週間前にCampussquareに掲示予定 事後資料として補助教材配布予定	office365のformsを用いることがある。 講義資料についても事前に配布する。

基本情報

科目名	成人看護学
時間割コード	0124301601
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	杉野 由起子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
福島 和代、杉野 由起子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業の目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期の健康と発達の特徴や看護に有用な概念を学修し健康障害をもつ人を総合的に理解する。 2. 成人期にみられる様々な健康障害の特徴や疾病段階を学修し療養生活を送る人の回復とその人らしい生活の再構築へ向けた看護援助を理解する。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成人看護に有用な概念や理論を活用する意義と学修した理論の概要を説明できる。 2. 成人期の健康障害の特徴とその看護について説明できる。 3. がん患者・家族の治療と療養生活支援の概要を説明できる。 4. クリティカルケア看護の概要と多職種によるチームアプローチを説明できる。 5. 周手術期の看護過程と生体侵襲を受けた患者の回復過程を説明できる。 6. 呼吸・循環器疾患の発症から回復過程の療養支援と患者教育を説明できる。
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人看護学の学習内容は広範囲であり、解剖生理学・病態生理学と治療、基礎看護学等の知識が不十分だと授業が理解できないため、テキストで予習し授業に臨むこと(120分) 2. 専門的な用語や英語の略語も多く、自分の言葉で説明できるまで何度もテキストを読み込み、理解を深めるための復習をすること(120分) 3. この授業は3年次の成人看護学実習の先修科目に含まれていることを理解しておくこと 4. 学修内容が多く授業展開が早いため、疑問や理解できないことは積極的に質問し、テキスト以外の専門書なども利用して主体的に学ぶこと
評価方法	定期試験で(100%)評価する
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナーシング・グラフィカ「成人看護学概論」メディカ出版 2. 系統看護学講座専門分野 成人看護学【2】～【14】医学書院 3. 別巻 臨床外科看護総論 医学書院
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナーシンググラフィカ「セルフマネジメント」「健康危機状況」「周手術期看護」メディカ出版 2. 「慢性期看護論」ヌーヴェルエルシエール 3. 「周手術期看護論」ヌーヴェルエルシエール 4. がん看護 医学書院 5. 実践に役立つ看護過程と看護診断第2版 ヌーヴェルエルシエール
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>福島：看護師として病院勤務経験</p> <p>杉野：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画

下記展開で変更が生じた場合は、学生に変更計画を提示する。

- 1回 4/9 (金) 5限(福島): リイテーション・成人期にある人の理解と看護 成長発達の特徴 生活と健康観
- 2回 4/16 (金) 5限(福島): 成人期にある人の理解と看護 成人の学習の特徴 健康障害と看護
- 3回 4/23 (金) 5限(福島): 看護に有用な概念 ストレス・危機 他
- 4回 4/30 (金) 5限(福島): 看護に有用な概念 セルフケア、自己効力 他
- 5回 5/7 (金) 5限(福島): がんに罹患した患者と家族の看護
- 6回 5/14 (金) 5限(杉野): 周手術期にある患者・家族の看護/手術前・中・後の看護の役割
- 7回 5/21 (金) 5限(杉野): 全身麻酔・局所麻酔を受ける患者の看護/手術侵襲と生体反応
- 8回 5/28 (金) 5限(杉野): 手術療法を受ける患者の看護過程/手術前・後の観察と評価
- 9回 6/4 (金) 5限(杉野): 急性重症患者と家族の看護/生命の危機的状況にある対象の理解
- 10回 6/11 (金) 5限(杉野): 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 肺がんの外科治療・術後看護過程
- 11回 6/18 (金) 5限(杉野): 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 肺炎/気管支喘息患者の看護/教育
- 12回 6/25 (金) 5限(杉野): 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 慢性閉塞性肺疾患の急性増悪時の看護と患者教育
- 13回 7/2 (金) 5限(杉野): 循環器障害をもつ患者・家族の看護 虚血性心疾患の急性期看護と看護過程
- 14回 7/9 (金) 5限(杉野): 循環器障害をもつ患者・家族の看護 心不全、急性心不全と慢性心不全の看護と患者教育
- 15回 7/16 (金) 5限(杉野): 循環器障害をもつ患者・家族の看護 カテーテル治療を受ける患者の看護

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.成人期にある人の理解と看護 成長発達の特徴、生活と健康観(福島)	成人看護学概論のテキストで該当する範囲を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
2	2.成人期にある人の理解と看護 成人学習、健康障害と看護	成人看護学概論のテキストで該当する範囲を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
3	3.成人看護に有用な概念 ストレス・危機理論 他(福島)	成人看護学概論のテキストで該当する範囲を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
4	4.看護に有用な概念 セルフケア、自己効力 他(福島)	成人看護学概論のテキストで該当する範囲を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
5	5.がんに罹患した患者と家族の看護(福島)	成人看護学テキストで該当する範囲を予習し意味のわからない専門用語をし調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
6	6.周術期にある患者・家族の看護 看護の役割について(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
7	7.全身麻酔・局所麻酔を受ける患者の看護、手術侵襲と生体反応(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
8	8.手術療法を受ける患者の看護過程、手術前後の観察と看護および評価(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	

授業計画

下記展開で変更が生じた場合は、学生に変更計画を提示する。

- 1回 4/9 (金) 5限(福島)： リイテーション・成人期にある人の理解と看護 成長発達の特徴 生活と健康観
- 2回 4/16 (金) 5限(福島)： 成人期にある人の理解と看護 成人の学習の特徴 健康障害と看護
- 3回 4/23 (金) 5限(福島)： 看護に有用な概念 ストレス・危機 他
- 4回 4/30 (金) 5限(福島)： 看護に有用な概念 セルフケア・自己効力 他
- 5回 5/7 (金) 5限(福島)： がんに罹患した患者と家族の看護
- 6回 5/14 (金) 5限(杉野)： 周手術期にある患者・家族の看護/手術前・中・後の看護の役割
- 7回 5/21 (金) 5限(杉野)： 全身麻酔・局所麻酔を受ける患者の看護/手術侵襲と生体反応
- 8回 5/28 (金) 5限(杉野)： 手術療法を受ける患者の看護過程/手術前・後の観察と評価
- 9回 6/4 (金) 5限(杉野)： 急性重症患者と家族の看護/生命の危機的状況にある対象の理解
- 10回 6/11 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 肺がんの外科治療・術後看護過程
- 11回 6/18 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 肺炎/気管支喘息患者の看護/教育
- 12回 6/25 (金) 5限(杉野)： 呼吸器機能障害をもつ患者・家族の看護 慢性閉塞性肺疾患の急性増悪時の看護と患者教育
- 13回 7/2 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 虚血性心疾患の急性期看護と看護過程
- 14回 7/9 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 心不全、急性心不全と慢性心不全の看護と患者教育
- 15回 7/16 (金) 5限(杉野)： 循環器障害をもつ患者・家族の看護 カテーテル治療を受ける患者の看護

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
9	9・急性・重症患者と家族の看護、生命の危機的状況にある対象の理解と看護(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習(120分)	
10	10.呼吸機能障害をもつ患者・家族の看護、肺がん(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
11	11.呼吸機能障害を持つ患者・家族の看護 肺炎、気管支炎(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
12	12.呼吸機能障害をもつ患者・家族の看護、慢性閉塞性肺疾患(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
13	13.循環器障害をもつ患者・家族の看護、虚血性心疾患(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
14	14.循環器障害をもつ患者・家族の看護、心不全(杉野)	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	
15	15.循環器障害をもつ患者・家族の看護、心臓カテーテル治療	臨床外科看護学総論、成人看護学のテキストで該当する授業の内容を読んで予習し意味のわからない専門用語を調べておく(120分)、授業の内容を参照しながら自分の言葉で説明できるように復習する(120分)	

基本情報

科目名	成人看護学
時間割コード	0124301701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	3.0
学年	2
主担当教員	川本 起久子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
川本 起久子、福島 和代、杉野 由起子、島村 美香、齊藤 圭子

詳細情報

授業の目的・到達目標	成人の多様な健康障害とその看護を学び、看護実践に必要な基礎知識を獲得できる。健康障害をもつ成人患者の事例を通して具体的に看護過程の展開を理解できる。
履修上の注意事項	成人看護学 ・ は、成人看護学実習 ・ と直結した学習内容である。臨地実習は、看護の対象者と直接かかわりを持ち実践行動を展開することで、理論と実践の結びつきを理解する重要な場面である。健康障害をもつ受け持ち患者様の回復過程を促進する看護を提供する前提は基礎的な知識と技術を身につけていることである。 事前に教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)、授業後は配布資料や教科書で復習をすること(120分)。
評価方法	評価基準は「試験 100%」で60点以上を合格とする。
テキスト	1.系統看護学講座専門分野 成人看護学【2】～【14】医学書院 2.系統看護学講座別巻1 臨床外科看護総論 医学書院 3.糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版
参考文献	適時紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川本起久子：看護師として病院勤務経験 福島 和代：看護師として病院勤務経験 杉野由紀子：看護師として病院勤務経験 島村 美香：看護師として病院勤務経験 齊藤 圭子：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	造血機能に障害のある患者の理解 福島	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
2	造血機能に障害のある患者の看護 福島	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
3	運動機能に障害のある患者の理解 齊藤	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
4	運動機能に障害のある患者の看護 齊藤	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
5	脳神経系に障害のある患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	脳神経系に障害のある患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
7	糖尿病を持つ患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
8	糖尿病を持つ患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
9	腎不全患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
10	腎不全患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
11	免疫機能に障害のある患者の理解 福島	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
12	免疫機能に障害のある患者の看護 福島	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
13	胃がん患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
14	大腸がん患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
15	肝機能に障害のある患者の理解 島村	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
16	肝機能に障害のある患者の看護 島村	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
17	肝機能に障害のある患者の看護 島村	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
18	乳がん患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
19	子宮がん患者の看護 川本	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	
20	点滴治療を受ける患者の看護 島村	事前学習として教科書で点滴治療について予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習をすること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
21	循環器疾患患者事例の理解 杉野	事前学習として教科書で各器の構造と機能を予習して望むこと(120分)。事後学習として配布資料や教科書で復習し、事例の病態を理解する(120分)。	
22	看護過程 杉野	事前学習としてアセスメントを記載してくること(120分)。事後学習としてアセスメントを完成させること(120分)。	
23	看護過程 杉野	事前学習として看護上の問題を統合し、優先順位を考え、計画を立案する(120分)。事後学習として、看護過程を見直し、追加・修正する(120分)。	

基本情報

科目名	成人看護学
時間割コード	0124301801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	島村 美香
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
山本 みゆき、島村 美香

詳細情報

授業の目的・到達目標	成人看護学では、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族が、尊厳をもちその人らしく人生を送ることができるための支援の理論と方法を学ぶ。学修者は、まずは緩和ケアの概念と現状について理解する。その上で、患者・家族が抱く全人的痛みの考え方や苦痛症状を理解し、その特徴とアプローチについて説明できる。その中で、意思決定支援について知り、その重要性を説明できる。また、授業をとおして自己の死生観について自分の言葉で説明できることを目指す。
履修上の注意事項	・事前学習として授業内容の教科書項目を熟読して授業に望む(120分)。また、授業の振り返りや関連する書籍を読んで理解を深める(120分)。 ・緩和ケアスペシャリスト・緩和ケア教育のコーディネータ、ホスピスケアの啓蒙、教育に携わり、現在ヒーラーとして国内だけでなく海外でも活躍中の山本トースネスみゆき氏を非常勤講師として3コマ依頼している。アメリカ・テキサス州在宅ホスピスナースなど多彩な実践を通しての話をよく聞いて看護に生かして頂きたい。
評価方法	・課題レポート(80%)、小レポート(10%)、授業態度(10%)で評価を実施する。 ・課題レポートは授業最終日に課題を提示する。
テキスト	系統看護学講座 別巻「緩和ケア」医学書院 2021年度版
参考文献	授業の中で提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	島村美香：看護師として病院勤務経験あり 山本トースネスみゆき：看護師として病院勤務経験あり

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	緩和ケアの概念と現状について(島村)		4月12日5限
2	緩和ケアにおける倫理と意思決定支援(島村)		4月19日5限
3	スピリチュアリティとはなにか(山本)		4月26日5限
4	スピリチュアルペインを理解する(山本)		5月10日5限
5	スピリチュアルケアの実践について(山本)		5月24日5限
6	緩和ケアにおける身体的ケア(身体的苦痛のマネジメント)(島村)		5月31日5限
7	緩和ケアにおける身体的ケア(日常生活を支える援助)(島村)		6月7日5限
8	緩和ケアにおける心理的・社会的ケア(島村) 臨死期の身体的ケア、エンゼルケア、グリーフケア		6月14日5限

基本情報

科目名	老年看護学
時間割コード	0124302101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	生野 繁子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、十時 彩、志垣 留美、北原 崇靖

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフサイクルの中で老年者をとらえ、老年者の特徴とその健康生活について理解できる。 2. 保健医療福祉制度の変化と、高齢者を介護する家族の現状について理解できる。 3. 高齢者ケア提供の場と、ケア提供に係る専門職の役割について理解できる。 4. 高齢者の尊厳や人権を守り、高齢期のQOL向上の視点の重要性を理解できる。 5. 少子高齢・人口減少社会の我が国における老年看護の課題について理解できる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年次臨地実習である老年看護学実習、および看護総合実習の先修科目である。 ・ 第1回講義時に高齢者インタビューとアセスメントの視点を説明するので、具体的な高齢者をイメージして講義に臨むこと。この個別評価を10点分定期試験に加味し、全体講評を講義時に実施する。 ・ 家族が住む自治体の介護保険等のパンフレットを入手し熟読(約30分)しておくこと。 ・ シラバス内容に関するテキスト部分を事前学習(約30分)し、授業に参加すること。 ・ 生野担当時に数回ミニテスト(学習用・評価には加味しない)を実施する。必ず復習(約30分)すること。
評価方法	期末定期試験90%、課題レポート10%(全体総括は15回目講義で説明する)の割合で評価する。
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新体系看護学全書「老年看護学概論・老年保健」メヂカルフレンド社 2. 「国民衛生の動向」厚生労働統計協会(1年次購入済み)
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新体系看護学全書「老年看護技術」メヂカルフレンド社 2. 「高齢者の健康と障害」堀内ふき編 メディカ出版 3. 系統看護学講座専門19「老年看護学」医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	生野 看護師として病院勤務経験 山本 看護師・保健師として病院勤務経験 北原 看護師として病院勤務経験 十時 歯科衛生士として病院勤務経験 志垣 歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護学科の老年看護学領域担当者3名と口腔保健学科所属教員2名による担当です。 ・ 年齢を重ねて行くと、心身にどのような変化がおきるのかを学び、現在の高齢社会の中で高齢者どのような状況に置かれているのか視野を広げています。 ・ 看護師に必要な人権意識・他者の尊厳への配慮・意思決定支援の重要性を学びます。 ・ 以上のことが15回で学べるように計画しています。 ・ 事前学習として各回の内容に関して各自で調べておくこと、事後学習は各回学びを復習すること。(事前事後合わせて2時間程度必要)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	導入・講義概要の説明・老年看護学の成り立ち(高齢者インタビュー課題の説明含む): 生野		
2	老年看護学の役割と目標・理論・概念: 生野		
3	高齢者の保健医療福祉制度の変遷と高齢化の現状: 生野		
4	高齢者の理解 老化の考え方・老化の特徴・感覚器の老化: 生野		
5	高齢者の理解 運動器・筋・骨格の老化: 山本		

授業計画

- ・看護学科の老年看護学領域担当者3名と口腔保健学科所属教員2名による担当です。
- ・年齢を重ねて行くと、心身にどのような変化がおきるのかを学び、現在の高齢社会の中で高齢者どのような状況に置かれているのか視野を広げています。
- ・看護師に必要な人権意識・他者の尊厳への配慮・意思決定支援の重要性を学びます。
- ・以上のことが15回で学べるように計画しています。
- ・事前学習として各回の内容に関して各自で調べておくこと、事後学習は各回学びを復習すること。(事前事後合わせて2時間程度必要)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	高齢者の理解 循環器・呼吸器・消化器等の老化:北原		
7	高齢者の理解 知的機能・認知機能・心理的特徴・高齢者の生活:生野		
8	介護保険制度の理解 理念等・認定の流れ:生野		
9	高齢者の理解 口腔・歯牙の老化とケア:十時・志垣・生野・山本・北原 認定:生野		
10	介護保険制度の理解 サービスの種類と看護師の役割:生野		
11	介護保険制度の理解 地域包括ケアと制度の今後:生野		
12	高齢者ケアの場と協働 病院・施設・在宅の連続性と多職種協働:山本		
13	高齢者の意思決定支援・尊厳・虐待防止:北原		
14	高齢者ケアの課題・老々介護・家族支援・終末期ケア:生野		
15	多様な価値観と高齢者ケア・まとめ:生野		

基本情報

科目名	老年看護学
時間割コード	0124302201
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>高齢者に多くみられる症状・疾患の特徴を理解し、健康課題を見出すためのアセスメントができる。また、高齢者における手術療法、薬物療法など治療上の注意点とケアが理解できる。さらに認知症の症状や終末期・看取りのケアについて説明ができる。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中の私語が多い場合は、座席指定とします。チャイムが鳴り終わるまでに着席してください。 ・演習も入れながら講義を行います。必要物品は事前に連絡します。 ・出席は、毎回のレポートがなければ携帯登録があっても無効です。 ・事前学習：老年看護学 を十分に復習すること。授業展開を参考に教科書を熟読し受講して下さい(60分)。 ・事後学習：毎回、講義後は各自復習し理解を深めましょう(90分)。毎回、前回の復習問題もします。
評価方法	<p>演習:10% 試験:90% フィードバックとして演習内容の解説を講義で行い、レポートは返却します。毎回のレポートについては、講義の冒頭にコメントを返します。</p>
テキスト	<p>『ナーシング・グラフィカ 老年看護学(2) 高齢者看護の実践 第5版』・堀内ふき他・MCメディカ出版・2021</p>
参考文献	<p>講義の中で適宜紹介する</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>山本恵子：看護師・保健師として病院勤務経験 生野繁子：看護師として病院勤務経験 北原崇靖：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	高齢者の疾患の特徴：予備力低下、個性など(山本)		
2	高齢者の入院・検査：入院経路、検査時の注意など(山本)		
3	高齢者の手術・退院：低体温・熱中症、掻痒、シームレスケアなど(山本)		
4	高齢者の薬物療法：多剤併用、代謝低下、管理(山本)		
5	高齢者に多い疾患：白内障、前立腺肥大症、誤嚥性肺炎など(北原)		
6	高齢者に多い疾患：骨粗鬆症、大腿骨頸部骨折など(山本)		
7	症状アセスメント：低栄養、浮腫、電解質代謝異常など(生野)		
8	症状アセスメント：不眠、失禁、便秘、難聴(山本)		
9	意思決定支援(北原)		
10	演習：高齢者へのインタビュー(山本、生野、北原 他)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	演習：老年者のヘルスアセスメント：アセスメント（山本）		
12	老年者のヘルスアセスメント：対象理解に向けた老年者のアセスメント（山本）		
13	終末期のケア：エンド オブ ライフケア（生野）		
14	認知症とは：医学的視点での理解（山本）		
15	認知症の看護：認知症ケア（山本）		

基本情報

科目名	関係法規
時間割コード	1000450101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療行為を中核とする現行医事法制の中で、コメディカルの法的位置づけを理解する。 2. 医療専門職である看護師に課せられた社会的責務と業務上の責任を理解する。 3. 各種医療専門職との協力、福祉従事者との連携のために必要とされる法を理解する。 4. 今日の医療制度の仕組みとその問題点を理解する。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義内容について教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『コ・メディカルのための医事法学概論(第2版)』2020年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと(2時間)</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題(随時)について調べ、作成・提出する(2時間)。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	市民の法と専門職の法 市民法の基礎、看護師の法的位置づけ		
2	医療職と法 守秘義務と個人情報の保護、三層の法構造		
3	医業の独占 医療行為、「業」による規制、医療行為の拡散		
4	治療行為と同意(1) 医療行為と治療行為、同意能力、乳幼児と医療ネグレクト		
5	治療行為と同意(2) 家族による同意、成年後見制度と治療同意権		
6	診療の補助と医師の指示 具体的指示と包括的指示、メディカルコントロール		
7	看護師と刑事責任(1) 終末期医療と家族		
8	看護師と刑事責任(2) チーム医療と信頼の原則、実習生による事故とその対応		
9	チーム医療と民事責任(1) 民事責任の構造、医療従事者の注意義務		
10	チーム医療と民事責任(2) 看護師の過失		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	身体拘束と看護事故 裁判例の分析、 看護と介護		
12	医療過誤と訴訟 訴訟の目的とその限 界、医療ADRの取り組み		
13	看護師と労働法 労働契約の特殊性、 院内暴力・セクハラ		
14	医療制度と法 医療制度改革、医療法 の改正		
15	コメディカルの業務と責任 医療者の 義務、医事法の構造と射程		

基本情報

科目名	統計学
時間割コード	1000220101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会調査やアンケートなどで得られたデータは、そのままでは役に立たない。データを客観的、論理的に分析することが必要になってくる。本講義では、確率論の基礎知識を踏まえた上で、データを分析する手法や手順、得られた結果の評価方法等を、なるべく多くの事例に関する演習を通して実践的に理解し、得られたデータから適切な分析手法を選択し、データ分析ができるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	テキストはなく、配布プリントを配布するだけなので、事前の予習、事後の復習が要求される。特に、わからないことは、わからないまま済ませずに、遠慮なく質問に来るようにしてもらいたい。
評価方法	筆記試験の結果のみで判断する。再試験は行なう。
テキスト	テキストは用いず、適宜、プリント資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜、紹介するが、図書館にも「統計学」で学内蔵書検索をすると、多くの蔵書が見つかる。実際に手に取ってみて、自分に合う参考図書を見つけてみるのもよいだろう。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム		
2	量的データと代表値，分散		
3	正規分布，t分布， χ^2 分布とその性質		
4	母平均・母分散・母比率の推定		
5	検定の考え方，第1種・第2種の過誤		
6	母平均の検定，対応のある2つの母平均の差の検定		
7	対応のない2つの母平均の差の検定		
8	ノンパラメトリック検定（順位和検定）		
9	ノンパラメトリック検定（符号検定）		
10	ノンパラメトリック検定（符号付き順位和検定）		
11	母比率の検定（対応のある場合，ない場合）		
12	適合度の検定		
13	独立性の検定，マクネマー検定		
14	相関関係と相関係数		
15	回帰分析		

基本情報

科目名	公衆衛生看護学概論
時間割コード	1000460101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	福本 久美子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護学における地域看護と公衆衛生看護の位置づけを理解し、公衆衛生看護学の基本的理念と目的、その対象や活動方法の特性について、基本的な知識と考え方を学習し、公衆衛生看護学の全体像が理解できる。
履修上の注意事項	1) 講義の予習復習を行うこと(90分以上)。 2) グループワークや討論など参加型の手法を取り入れるため、授業以外の学習時間を活用し課題を整理することが必要になるため、学生間で調整を行い、グループ学習を進めること(180分以上)。 3) 学外での公衆衛生看護学関連の講演会等(紹介)に積極的に参加すること。
評価方法	レポート40点(止むを得ない場合を除き、期日まで提出がない場合は減点) ・提出先: Campas Square。フィードバックは質問者に対応。 試験60点
テキスト	1.[公衆衛生看護学概論 第5版] 標美奈子他 医学書院 2.[国民衛生の動向2021/2022] 厚生統計協会
参考文献	1.「健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか」近藤克則著,医学書院 2005 2.「保健師-普通を守る仕事の難しさ-」荘田智彦著,家の光協会 1998 3.「そよ風と暮らしと健康」福本久美子・星旦二編著 熊日出版 2013 4.その他随時紹介。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本:保健師として保健所勤務経験 中川:保健師として保健センター勤務経験 未定

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護学における地域看護と公衆衛生看護の位置づけ(福本・中川・未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	公衆衛生と公衆衛生看護学の理念と目的(福本)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
3	公衆衛生看護活動の歴史(福本)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
4	公衆衛生看護の対象(未定)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
5	公衆衛生看護学の活動分野の特徴(中川)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
6	保健師活動を読み解き、公衆衛生看護と保健師の役割を学ぶ(福本・中川・未定)	関連事項を事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	課題の進め方を説明。学生間で検討
7	社会環境の変化と健康課題(中川)	関連事項を事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	健康格差の要因と解決方法(未定・中川)	関連事項を事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
9	予防レベルと保健行動・ヘルスリテラシー(未定)	関連事項を事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
10	公衆衛生看護の活動方法(中川)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
11	保健師活動を読み解き、公衆衛生看護と保健師の役割を学んだことを発表する(福本・中川・未定)	関連事項を事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	学生の発表
12	公衆衛生看護と保健師の役割の発表に関するまとめ(福本・中川・未定)	関連事項を事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	コミュニティエンパワメント
13	公衆衛生看護学の活動分野(行政)の特徴(福本：外部特別講師)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師(行政で働く保健師)
14	公衆衛生看護学の活動分野(産業)の特徴(福本：外部特別講師)	テキストを事前学習のこと（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師(産業で働く保健師)
15	まとめ(福本・中川・未定)	テキストやこれまでの授業資料を事前学習（2時間）、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	

基本情報

科目名	在宅看護学
時間割コード	0124305001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 他
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	田中 康子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
開田 ひとみ、田中 康子、未定、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の対象となる人の身体的・精神的・心理的・社会的特徴を理解する。 2. 少子化・超高齢社会のわが国における在宅医療の特徴と課題を理解する。 3. 健康障害をもつ在宅療養者のQOLを支援するための地域における看護職の役割について理解する。 4. 在宅で療養生活する対象の成長発達過程や健康について理解する。 5. 地域で生活するすべての世代のあらゆる健康状態の人々を取り巻く現代社会の諸問題について理解する。 6. 在宅看護を理解するために在宅看護の提供の場や時期、概要を理解する。 7. 疾病や障害をもちながら在宅で生活する療養者とその家族(介護者)を身体的・精神的・心理的・社会的に理解する。 8. 疾病や障害、加齢に伴う変化をもつ療養者とその家族(介護者)の日常生活支援の方法について理解する。 9. 疾病や障害、加齢に伴う変化をもつ療養者およびその家族(介護者)と関わる人々の倫理的課題を理解する。 10. 在宅療養者の特性と看護過程の展開(生活支援)を理解する。 <p>【個別到達目標 (SBO)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者の身体的・精神的・心理的・社会的特徴を知り、個別性を理解するための視点を説明できる。 2. 在宅療養者の地域支援システムと地域における看護職の役割を説明できる。 3. 在宅療養者の在宅医療における多職種連携について説明できる。 4. 在宅療養者の意思をもつ人という視点から心理面の援助の視点を説明できる。 5. 在宅で療養する要介護者や家族(介護者)の現状や課題とその支援について説明できる。 6. 在宅療養者の保健医療福祉・法令・制度について説明できる。 7. 在宅療養者の尊厳や倫理的課題について説明できる。 8. 在宅療養者の終末期ケアの特徴と看護の方法について説明できる。 9. 在宅療養者の健康障害と生活機能の特徴とケアの必要性について説明できる。 10. 在宅療養者の健康障害、病期、生活機能の状況に応じた援助の方法を説明できる。 11. 在宅療養者の生活機能を理解し自律(立)支援に応じた社会資源を説明できる。 12. 疾病や障害、加齢に伴う変化による特徴および生活に視点をむけてアセスメントができる。 13. 生活機能のアセスメントに基づき療養者とその家族(介護者)のニーズを抽出し生活支援の方向性を検討することができる。
------------	--

詳細情報

履修上の注意事項	<p>1)原則、座席指定ではない。授業の状況（授業態度：私語がみられる他）にて、座席指定に変更する可能性がある。</p> <p>2)授業方法として、グループワーク等で実施する可能性がある。その際には、講義中に口頭での説明やCAMPUS SQUARE 掲示で連絡を行う。</p> <p>3)出席について、毎回の講義において「携帯電話等での登録」かつ「講義に関する感想カードの提出」の実施で出席とする。</p> <p>(1)携帯電話等での登録：各回の講義で担当教員が口頭で伝える数字等のキーワードの登録</p> <p>(2)講義に関する感想カード：カード（紙媒体）もしくはCAMPUS SQUARE を利用したいずれかの方法で行う。</p> <p>4)事前事後学習</p> <p>(1)事前学習 講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。</p> <p>(2)事後学習 毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。</p> <p>(3)看護過程の回について、以下を参照する。</p> <p>事前学習：提示された事例について、わからないまたは明確に理解できていない言葉や意味等の事項を調べて講義に臨む（2時間）。</p> <p>事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。</p> <p>【その他】</p> <p>1)フィードバック：講義の感想カードの内容について、次回の講義において担当教員から口頭にて返答を行う。</p> <p>2)小テスト：30回の講義うちのいずれかの回で実施する予定である。担当教員から口頭もしくはCAMPUS SQUARE で事前に連絡を行う。</p>
評価方法	<p>【本科目における評価】</p> <p>単位修得試験と小テストと提出物を合計(100%：100点)した60%以上である。学生便覧の成績評価におけるA、B、Cのいずれかの評価で合格の判定とする。</p> <p>【評価の内訳について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位修得試験：70% ・小テスト：20% ・講義やCampusSQUARE 掲示、他にて提示した提出物：10% <p>【再試験について】</p> <p>実施しない可能性がある。実施しない場合は、CampusSQUARE の単位修得試験関連で連絡をおこなう。</p>
テキスト	河原 加代子ほか：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論，医学書院。
参考文献	適宜提示する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>田中 康子：看護師として病院勤務経験</p> <p>嚴 桂子：看護師として病院勤務経験</p> <p>開田 ひとみ：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
<p>【授業概要】</p> <p>疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさや自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス、講義の予定・展開等、在宅看護の対象者のイメージ、超高齢社会の特徴（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
2	在宅看護における看護師の役割、地域包括ケアシステム（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
3	地域包括ケアシステムにおける多職種連携（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
4	在宅看護の対象者の特徴（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
5	在宅看護における家族の支援（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
6	在宅看護における権利保障（開田 ひとみ）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	在宅看護におけるリスクマネジメントと災害の備え（開田 ひとみ）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
8	在宅看護にかかわる法令・制度、社会資源（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
9	介護保険制度（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
10	訪問看護制度（巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
11	在宅看護の展開の特徴〔在宅看護の基本となるもの・倫理的課題・権利擁護〕（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
12	在宅看護技術〔栄養：栄養について〕（巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	在宅看護技術〔栄養：経管栄養、他〕 （ 巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
14	在宅看護技術〔褥瘡・排泄〕（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
15	在宅看護技術〔移動・移乗、清潔〕 （田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
16	在宅看護技術〔在宅酸素療法 在宅人工呼吸療法〕（ 巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
17	呼吸器疾患の療養者への在宅看護（ 巖 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
18	認知症の療養者への在宅看護（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
19	小児の療養者（医療的ケア児と親）への在宅看護（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
20	難病の療養者への在宅看護（嚴 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
21	精神疾患の療養者への在宅看護（嚴 桂子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
22	終末期の療養者への在宅看護〔終末期について〕（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
23	終末期の療養者への在宅看護〔終末期ケアの事例等〕（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
24	在宅看護過程（田中 康子）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。

授業計画

【授業概要】

疾病や障害、加齢に伴う変化が地域のなかで生活する療養者の生命や生活にどのような課題をもつか、その特徴を理解し在宅看護の目的を学ぶ。在宅療養者の生活の豊かさと自己実現、在宅療養者の自己決定、在宅療養者の自律（自立）支援について説明する。また、地域のなかで生活する人々やわが国における在宅療養者の家族の現状、在宅における介護の現状、在宅看護にかかわる法令・制度等の社会資源や在宅療養者の生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、在宅看護の特性および役割について理解する。在宅療養者とその家族を理解し、在宅療養者の病期や状況に応じた目標志向型における生活機能のアセスメントや在宅療養者の生活全体を豊かにする支援について、看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
25	看護過程：事例の理解・情報の分類・アセスメント（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
26	看護過程：事例の理解・情報の分類・アセスメント（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
27	看護過程：アセスメント・生活支援の方向性（計画）立案（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
28	看護過程：アセスメント・生活支援の方向性（計画）立案（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
29	看護過程：アセスメント・生活支援の方向性（計画）立案（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。
30	まとめ：演習事例の展開方法（田中 康子・巖 桂子）	・事前学習：提示された事例について、わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：受講した内容や助言を受けた部分について、追加・修正し理解を深めて説明できるように復習を行う（2時間）。	提示された事例について、講義の時間以外においても、自宅などで自己の課題として看護過程をすすめて行う。

基本情報

科目名	母性看護学
時間割コード	0124302801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	牛之濱 久代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
牛之濱 久代、大橋 知子、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>目的：本科目は、人間の健康を性と生殖に関する側面から捉え、母性看護学の基盤となる概念について学ぶ。また、母子と家族を取り巻く環境の変化や母性看護の現況と動向を把握し、必要な支援について考えることを目指す。</p> <p>目標：母性看護に基盤となる諸概念について理解できる。 母性看護の現況と動向を概括し、家族を含めた母子を取り巻く環境を把握できる。 女性の生涯における発達課題と健康課題を理解した上で、母性看護の具体的な支援のあり方について述べるができる。</p>
履修上の注意事項	講義初日に、授業展開日程表を配布するので、教科書を読み、その分野に関する内容を予習しておくこと。また、事後学習として授業資料内容を教科書や参考書と照らし合わせ復習しておくこと。
評価方法	小テスト50%、期末試験50% 各自が知識の定着度を確認できるように、授業中に小テストの正答と解説をします。
テキスト	『系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護[1]』医学書院、『系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護[2]』医学書院、『系統看護学講座 女性生殖器 成人看護学[9]』医学書院
参考文献	国民衛生の動向、前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性、母性』中央法規 堀内成子編集『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護学第2版』照林社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	牛之濱久代：看護師、助産師として病院勤務経験 大橋知子：看護師、助産師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	母性看護の概念とその特質：母性看護の特殊性、母性看護学学習のねらい 牛之濱	事前：テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後：母性看護の各概念について定義をまとめておく。(2時間)	
2	人間の性と生殖：人間の性の特徴・性行動、セクシュアリティの発達と課題、性の決定・分化 牛之濱	事前：テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後：セクシュアリティの特徴についてまとめ、性に関する事故の考えをノートに書いておく。(2時間)	
3	女性生殖器の構造と機能：性周期とホルモン動態、受胎のメカニズム 牛之濱	事前：テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後：女性の性周期とホルモン動態、男女の生殖器の構造についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
4	社会と母性保健(1)：生活環境、母子保健統計の動向・母子保健行政のあゆみ、関係法規 牛之濱	事前：テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後：母子保健統計指標と各指標の動向についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
5	社会と母性保健(2): 母子保健施策、女性の労働と子育て、母性看護の場と職種 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 勤労女性の妊娠・出産をめぐる社会情勢の変化、サポートシステムについてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
6	母性看護の沿革と現況: 日本の母性看護の発達 近代以前、近代以降、現代、小テスト 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 母性看護の歴史的変遷と今後の展望についてまとめておく。(2時間)	
7	女性・家族のライフサイクル: 現代女性のライフサイクルと生涯発達、家族の発達段階 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 時代によるライフサイクルと看護の変化についてまとめておく。(2時間)	
8	女性のライフステージ各期の特徴と保健(1)(思春期)月経異常、性感染症、人工妊娠中絶 大橋	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 思春期の特徴と健康課題についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
9	女性のライフステージ各期の特徴と保健(2)(成熟期)育児不安、DV、産後うつ、喫煙 大橋	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 成熟期の特徴と健康課題についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
10	女性のライフステージ各期の特徴と保健(3)(更年期・老年期)更年期障害、尿失禁、骨粗鬆症 大橋	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 更年期・老年期の特徴と健康課題についてまとめておく。(2時間)	小テスト 対象
11	リプロダクティブヘルス・ライツ: 妊娠をめぐる女性の選択、母性看護における看護倫理 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: リプロダクティブヘルス・ライツの定義についてまとめておく。(2時間)	
12	家族計画、避妊: 受胎調節法と避妊法、小テスト 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 避妊法に関するワークシートを仕上げる。(2時間)	
13	母性看護に必要な看護技術: 情報収集・アセスメント技術、母性看護に必要な看護技術 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 母性看護における看護過程の特徴についてまとめておく。(2時間)	
14	出生前診断を受けるカップルの看護ケア、不妊カップルの理解と看護 牛之濱	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 出生前診断や不妊治療における看護、倫理課題についてまとめておく。(2時間)	
15	ハイリスクな状況にある人々への看護: 危機援助、ハンディキャップをもつ母子への看護 大橋	事前: テキストで授業内容を下調べしておく。(2時間) 事後: 葉老いリスク状況にある母子の看護についてまとめておく。(2時間)	

基本情報

科目名	母性看護学
時間割コード	0124302901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大橋 知子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業目的：周産期は女性のライフサイクルの中で最もダイナミックな身体的変化を起こす。さらに、女性の健康は胎児・新生児の発育や健康状態にも影響を及ぼす。本科目では、看護師として周産期における母性・胎児・新生児およびその家族に必要なケアの糸口を見出す能力を育成する。</p> <p>到達目標</p> <p>周産期の女性と胎児、新生児を中心とした家族の変化を記述できる。</p> <p>周産期の女性と胎児、新生児の身体的、心理・社会的変化と生活への適応を促す援助と健康逸脱時の援助を理解することができる。</p> <p>周産期の女性と胎児・新生児を中心とした家族全体の健康保持・増進および異常予防のために必要な援助を理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>講義初日に授業展開日程表を配布するので、教科書を読みその分野を予習すること(2時間)</p> <p>授業資料内容について教科書や参考書を読み返し復習すること(60分)。</p> <p>演習課題についてレポートを作成し演習に臨むこと(60分)。</p>
評価方法	<p>原則：試験80%、レポート20%(看護過程レポート、演習での学び800字A4 1枚)</p> <p>フィードバックとして、授業内でコメントを行います。必要に応じて授業内で再度説明します。</p>
テキスト	『系統看護学講座 母性看護各論 母性看護[2]』医学書院、『系統看護学 母性看護概論 母性看護学[1]』医学書院、『系統看護学 女性生殖器 成人看護学[9]』医学書院
参考文献	『写真でわかる母性看護技術 アドバンス』、『根拠と事故防止からみた母性看護技術』、『ウエルネスからみた母性看護過程第2版』、『病気がみえる』、『パティ外臨床実習ガイド 母性看護学第2版』
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	<p>牛之濱 久代：看護師、助産師として病院勤務経験、</p> <p>大橋 知子：看護師、助産師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	母性看護の特徴とウェルネス看護診断、事例による看護過程展開(大橋)	事前：シラバスを読む(2時間) 事後：事例を読む(2時間)	
2	妊娠期の看護：妊娠成立と妊娠に伴う母体や胎児の変化、妊娠期の心理・社会的特性(牛之濱)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：情報整理(母親)(2時間)	
3	妊娠期の看護：妊婦と胎児の健康アセスメント、妊婦の健康管理、妊婦の日常生活とセルフケア(牛之濱)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：情報整理(新生児)、ワークブック1-3p(2時間)	
4	妊娠期の看護：妊婦と家族の看護、親になるための準備教育・妊娠期の異常(牛之濱)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：アセスメント、ワークブック4-6p(2時間)	
5	分娩期の看護：分娩の三要素と正常分娩の臨床経過(大橋)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：アセスメント、ワークブック7-8p(2時間)	
6	分娩期の看護：分娩時の看護、分娩異常、産婦の安楽及び家族に対する看護(大橋)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：アセスメント、ワークブック9-10p(2時間)	
7	産褥期の看護：退行性変化、進行性変化、心理的变化・母親適応過程と看護(牛之濱)	事前：教科書を読む。(2時間) 事後：アセスメント、ワークブック11-13p、26、27p(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	産褥期の看護：母子と家族に対する看護援助、母乳哺育支援、育児支援、産褥異常（牛之濱）	事前：教科書を読む。（2時間）事後：関連図、ワークブック14、18-21p（2時間）	
9	新生児期の看護：新生児の生理的特徴と看護（大橋）	事前：教科書を読む。（2時間）事後：看護計画、ワークブック22、23p（2時間）	
10	新生児期の看護：新生児期の異常と看護（大橋）	事前：教科書を読む。（2時間）事後：看護計画、ワークブック16、17p（2時間）	
11	看護過程（情報収集）/小テスト/1G演習（ジグソー学習法）	事前：妊娠期の学習の復習、演習の手順書作成、演習までに、下記内容を視聴すること。1: DVD『褥婦のアセスメントとケア』2: 母性看護学各論」教科書、ワークブック16、17p 570p-574p（2時間）事後：看護過程の展開（2時間）	
12	看護過程（母親のアセスメント）/小テスト/2G演習（ジグソー学習法）	事前：分娩期の学習（2時間）事後：看護過程の展開（2時間）	
13	看護過程（新生児のアセスメント）/小テスト/3G演習（ジグソー学習法）	事前：産褥期の学習（2時間）事後：看護過程の展開（2時間）	
14	看護過程（看護計画）/小テスト/演習（ジグソー学習法）	事前：新生児期の学習（2時間）事後：看護過程の展開（2時間）	
15	母性看護過程まとめ/演習（ジグソー学習法）	事前：自身の看護過程を読む（2時間）事後：看護過程全体の修正	

基本情報

科目名	基礎看護学実習
時間割コード	0124301101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、齊藤 圭子、田中 康子、未定、上妻 尚子、北原 崇靖、赤峰 隆元、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。基礎看護学実習の経験を通して、他職種との連携、協力の必要性を考え、対象者の個性を尊重した支援に必要な能力を得るための自身の課題を見出す。
履修上の注意事項	1.必ず出席すること。実習中の欠席・遅刻は原則として認められない。 2.単位取得ができない場合は、翌年度に履修することとなる。 3.学生が誓約した内容を遵守しなかった場合、複数の教員(担当教員および科目責任者)が協議をした上で実習を中止する場合がある。 4.予習、復習の具体的内容はオリエンテーション時に指示する。実習記録等の学習時間は60分から90分である。
評価方法	基礎看護学実習(1年次)、(2年次)を総合的に評価する。 実習内容(学習・実践・記録):60%、提出・健康管理・実習態度:40% フィードバックとして、カンファレンス、実習中及び実習後に行動目標に沿って面談を行う
テキスト	その都度、紹介する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等での看護師勤務・保健師勤務経験、学校での養護教諭経験者である。

授業計画

授業計画
日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。そのため、学外実習として病院施設での経験と学内での学習を計画する。
<p>実習目標</p> <p>1.看護職者の専門性を認識する。</p> <p>1)看護の提供の場について知る。2)他職種との連携のあり方について知る。</p> <p>2.看護ケアの必要性を理解する。</p> <p>1)コミュニケーションを通して患者を理解する。2)日常生活の援助を実践することで看護ケアの必要性を理解する。3)看護ケア実践におけるアセスメントを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p> <p>3.基礎看護学実習で学んだことを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	基礎看護学実習
時間割コード	1000430101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、齊藤 圭子、田中 康子、未定、上妻 尚子、北原 崇靖、赤峰 隆元、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。基礎看護学実習の経験を通して、他職種との連携、協力の必要性を考え、対象者の個性を尊重した支援に必要な能力を得るための自身の課題を見出す。
履修上の注意事項	1.必ず出席すること。実習中の欠席・遅刻は原則として認められない。 2.単位取得ができない場合は、翌年度に履修することとなる。 3.学生が誓約した内容を遵守しなかった場合、複数の教員(担当教員および科目責任者)が協議をした上で実習を中止する場合がある。 4.予習、復習の具体的内容はオリエンテーション時に指示する。実習記録等の学習時間は60分から90分である。
評価方法	基礎看護学実習(1年次)、(2年次)を総合的に評価する。 実習内容(学習・実践・記録):60%、提出・健康管理・実習態度:40% フィードバックとして、カンファレンス、実習中及び実習後に行動目標に沿って面談を行う
テキスト	その都度、紹介する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等での看護師勤務・保健師勤務経験、学校での養護教諭経験者である。

授業計画

授業計画
日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。そのため、学外実習として病院施設での経験と学内での学習を計画する。
<p>実習目標</p> <p>1.看護職者の専門性を認識する。</p> <p>1)看護の提供の場について知る。2)他職種との連携のあり方について知る。</p> <p>2.看護ケアの必要性を理解する。</p> <p>1)コミュニケーションを通して患者を理解する。2)日常生活の援助を実践することで看護ケアの必要性を理解する。3)看護ケア実践におけるアセスメントを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p> <p>3.基礎看護学実習で学んだことを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	基礎看護学実習
時間割コード	0124301102
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

詳細情報

授業の目的・到達目標	日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。基礎看護学実習の経験を通して、他職種との連携、協力の必要性を考え、対象者の個性を尊重した支援に必要な能力を得るための自身の課題を見出す。
履修上の注意事項	1.必ず出席すること。実習中の欠席・遅刻は原則として認められない。 2.単位取得ができない場合は、翌年度に履修することとなる。 3.学生が誓約した内容を遵守しなかった場合、複数の教員(担当教員および科目責任者)が協議をした上で実習を中止する場合がある。 4.予習、復習の具体的内容はオリエンテーション時に指示する。実習記録等の学習時間は60分から90分である。
評価方法	基礎看護学実習(1年次)、(2年次)を総合的に評価する。 実習内容(学習・実践・記録):60%、提出・健康管理・実習態度:40% フィードバックとして、カンファレンス、実習中及び実習後に行動目標に沿って面談を行う
テキスト	その都度、紹介する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等での看護師勤務・保健師勤務経験、学校での養護教諭経験者である。

授業計画

授業計画	
日常生活援助を中心とした看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解する。そのため、学外実習として病院施設での経験と学内での学習を計画する。	
<p>実習目標</p> <p>1.看護職者の専門性を認識する。</p> <p>1)看護の提供の場について知る。2)他職種との連携のあり方について知る。</p> <p>2.看護ケアの必要性を理解する。</p> <p>1)コミュニケーションを通して患者を理解する。2)日常生活の援助を実践することで看護ケアの必要性を理解する。3)看護ケア実践におけるアセスメントを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p> <p>3.基礎看護学実習で学んだことを振り返り、自己の課題を明らかにする。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	小児看護学実習
時間割コード	0124301501
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	二宮 球美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
松岡 聖美、二宮 球美、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>小児看護学実習は、・によって実施する。</p> <p>目的 1. 子どもの人権と尊厳を尊重する態度を養う。2. 子どもの成長発達過程を理解し、成長発達を促進する支援の必要性を理解する。健康課題をもつ子どもとその家族を理解し、子どもの人権を尊重した看護、子どもとその家族中心の看護(patient and family-centered care)を提供する基礎的能力を養う。</p> <p>目標 1. 子どもと関係性の構築ができる。2. 健康な子どもの成長発達過程について説明できる。3. 看護専門職としての視点で成長発達段階に応じた生活援助について説明できる。4. 子どもの暮らす多様な場の特徴・役割と、子育て支援の在り様を考察できる。5. 日々の課題を明確にし、自己の発達と継続的な学習能力を身につける。</p> <p>1. 医療の場における子どもの倫理的課題の整理と権利を擁護する看護行為について考察できる。2. 子どもとその家族を理解し、子どもと家族中心の看護(patient and family-centered care)の実際を説明できる。3. 子どもを取り巻く、家庭、地域、保健、医療、福祉、教育の機能と連携を理解し、小児看護の役割を考察できる。4. 主体的に実習に臨み、自己の課題を明らかにできる。</p>
履修上の注意事項	<p>1. 実習要項を熟読し、事前学習(知識・技術など)(10時間)、実習で小児看護の対象者へ看護を展開できるような状態にして実習に臨むこと(事前課題を段階的に提示する各3時間程度)更に、実習中においては、担当教員よりの加筆修正のための事後学習が必要となる。毎日3~5時間程度×10日</p> <p>2. 必ず出席すること、実習中の欠席・遅刻・早退、それに準ずるものは原則として認めない</p> <p>3. 学生が誓約した内容を遵守(大学との契約、臨地との契約など)</p> <p>4. 単位修得ができない場合は、翌年度に履修することになる。</p> <p>5. 事後学習でライフステージにおける小児看護学と実践の統合をすること。進捗状況に応じたフィードバックを行う。必要に応じて面談実施。</p>
評価方法	<p>単位取得資格条件: 2/3以上の出席</p> <p>1. 実習態度: 50%(準備性、実施状況、個別性、応用性、修正の度合いなど)</p> <p>2. 実習記録とカンファレンス: 50%(具体性、個別性、独自性、安全・安楽への取り組みなど)</p> <p>実習要項に示した自己評価と指導者および教員による評価を総合して、会議後評価判定する。</p> <p>実習終了後、個別に評価のフィードバックを行う</p>
テキスト	「看護学実践 小児看護学」編集 中村伸枝 PILAR PRESS 2016、その他看護に関連した共通科目・専門科目で用いたテキスト全て HPup資料も含む
参考文献	<p>・「看護診断ハンドブック 第11版」リンダ J・カルベニート=モイエ著 2018 医学書院</p> <p>・『小児看護』2000.8 - クリニカル・サインのチェックポイント - へるす出版</p> <p>・medical science関連教科書</p> <p>・小児看護学の教科書・参考書・授業中使用の印刷教材・資料、HP資料 など全て</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>二宮球美 看護師として病院勤務経験を有する</p> <p>松岡聖美 看護師として病院勤務経験を有する</p>

授業計画

授業計画

小児看護学実習は、小児看護学実習 と で組み立てられている。

小児看護学実習 は、保育所・放課後児童クラブ（熊本市・玉名市）において、子どもの人権と尊厳を尊重する態度を養う。子どもの成長発達過程を理解し、成長発達を促進する支援の必要性を理解する。ことを目的として、臨地2日間、学内3日間の実習を行う。

小児看護学実習 は、病院・施設において、健康課題をもつ子どもとその家族を理解し、子どもの人権を尊重した看護、子どもとその家族中心の看護（patient and family-centered care）を提供する基礎的能力を養う。臨地3.5日学内1.5日の実習を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	臨地実習 保育所：2日間オリエンテーション、遊びやコミュニケーション、生活の観察等	実習要項及びオリエンテーション時に指示	保育所の臨地対象学生は、放課後児童クラブの臨地は対象とならない。
2	臨地実習 学童クラブ：2日間オリエンテーション、遊びやコミュニケーション、生活の観察等	実習要項及びオリエンテーション時に指示	放課後児童クラブの臨地対象学生は、保育所の臨地は対象とならない。
3	小児看護学実習 学内 ・子どもの暮らす多様な場の特徴・役割 ・個と集団における感染防止など	実習要項及びオリエンテーション時に指示 事例や動画などをもとに、個と集団における感染防止の介入方法の立案、risk assessmentを行い介入方法を立案する	指示された時間、方法での提出で行う。
4	小児看護学実習 初日 0.5 オリエンテーション、臨地 0.5 受け持ち患児決定情報収集	実習要項及びオリエンテーション時に指示 受け持ち患児の選定、情報収集、assessment、	指示された時間、方法での提出で行う。
5	2～4日目 臨地0.5×3 AM実習 問題抽出、計画立案、実施など PM記録類の助言指導	実習要項及びオリエンテーション時に指示 情報収集、assessment、看護問題の抽出、計画立案、実施	指示された時間、方法での提出で行う。
6	5日目 学内1 追加修正、自己評価など	実習要項及びオリエンテーション時に指示 目的目標についての評価等	指示された時間、方法での提出で行う。
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

基本情報

科目名	成人看護学実習
時間割コード	0124301901
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	3
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
川本 起久子、福島 和代、杉野 由起子、島村 美香、齊藤 圭子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>目的：成人期にある患者とその家族のもつ健康問題を全人的に理解し健康の段階に応じた最良の状態を生み出すための看護を学ぶ。看護過程の展開を通して根拠に基づいた看護の実践ができる基礎能力と、人間の尊厳および人権の擁護の重要性を理解し看護者として倫理的に判断し行動できる基礎能力を養う。</p> <p>到達目標：周手術期を通して健康状態が急激に変化する患者とその家族のもつ健康問題を総合的に理解し、受け持ち患者に対して看護過程の展開ができるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>実習直前のグループ別オリエンテーションに必ず参加する。</p> <p>実習病棟の特色を知り、疾患・検査・治療・看護について事前学習を行ったうえで実習に臨む(90分以上)。</p> <p>実習後は看護の振り返りを行い、指導を受けた内容についてケアの意味づけを行い、自己の課題を明確にして対応策を考える(90分)。</p> <p>体調管理を行い、流行性疾患に罹患しないよう注意する。</p>
評価方法	<p>評価は、実習評価表に基づき、「受け持ち患者の看護過程の展開と実習記録 80%、チームの一員としての行動20%」とし、60点以上を合格とする。</p> <p>フィードバックとして、必要に応じて面接を行う。</p>
テキスト	<p>系統看護学講座 成人看護学【2】～【14】医学書院. 系統看護学講座別巻1 臨床外科看護総論 医学書院の教科書および講義資料。</p>
参考文献	<p>看護過程と看護診断 NOUERU HIROKAWA. 周手術期看護論 NOUERU HIROKAWA. 周手術期看護学習ワークブック メジカル社. 病気がみえる MEDIC MEDIA. 看護師・看護学生のためのレビューブック MEDIC MEDIA.</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>福島 和代：看護師として病院勤務経験</p> <p>川本起久子：看護師として病院勤務経験</p> <p>杉野由起子：看護師として病院勤務経験</p> <p>島村 美香：看護師として病院勤務経験</p> <p>齊藤 圭子：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画

< 学習段階に応じた目標 >

1. 患者の病態・治療の理解：病態、検査、治療、経過、発達課題について患者状態を把握し、患者の病態、治療、手術後に予測される問題について理解できる。
2. 情報収集・看護問題抽出：患者情報を系統的に収集し手術が患者の心身にどのような影響を及ぼすかを予測して健康問題を明確化し、看護計画を立案することができる。最善の状態です術が受けられるように準備を整えることができる。
3. 看護計画立案：手術後の危機状態にある患者に対して、生命の維持、安全・安楽の確保、精神的支援のための看護を計画立案できる。
4. 看護の実践：回復期における患者の状態を理解し、早期離床、セルフケアに必要な看護を実践できる。退院後の生活を予測して残存機能を最大限に活用した自立への援助と家族を含めた指導を行うことができる。
5. 評価：周手術期の各段階において、患者が治療や健康の回復に向けて主体的に取り組めるような看護過程が展開できたか評価できる。
6. 倫理的配慮と医療チームの一員としてのと行動：看護者としての倫理的配慮ができ、医療チームの一員としての自己の役割を自覚した行動がとれる。

< 臨地実習計画 >

1週目の主な学習内容	コミュニケーション 情報収集 アセスメント 看護問題 計画の明確化
2週目の主な学習内容	看護介入 計画の修正・追加 評価
3週目の主な学習内容	まとめ 記録整理 事例検討と発表

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	成人看護学実習
時間割コード	0124302001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	3
主担当教員	福島 和代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
川本 起久子、福島 和代、杉野 由起子、島村 美香、齊藤 圭子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>目的：成人期にある患者とその家族のもつ健康問題を全人的に理解し、健康の段階に応じた最良の状態を生み出すための看護を学ぶ。看護過程の展開を通して根拠に基づいた看護の実践ができる基礎能力と、人間の尊厳および人権の擁護の重要性を理解し看護者として倫理的に判断し、行動できる基礎能力を養う。</p> <p>到達目標：慢性の疾患を有する患者とその家族のもつ健康問題を総合的に理解し、受け持ち患者と家族が主体的に病気を管理し、生活の再調整ができるような看護過程が展開できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>実習直前のグループ別オリエンテーションに必ず参加する。</p> <p>実習病棟の特色を知り、疾患・検査・治療・看護について事前学習を行ったうえで実習に臨む(90分以上)。</p> <p>実習後は看護の振り返りを行い、指導を受けた看護の意味づけを行い、自己課題を明確にして対応策を考える(90分)。</p> <p>体調管理を行い、流行性疾患に罹患しないよう注意する。</p>
評価方法	<p>評価は、評価表に基づき「受持ち患者の看護過程の展開と実習記録 80%、チームの一員としての行動 20%」とし、60点以上を合格とする。</p> <p>フィードバックとして、必要に応じて面接を行う。</p>
テキスト	<p>系統別看護学講座 成人看護学【2】～【14】医学書院、糖尿病食品交換表 第7版 の教科書及び講義資料。</p>
参考文献	<p>看護過程と看護診断 NOUVELLE HIROKAWA. 看護師・看護学生のためのビューブックMEDIC MEDIA. 病気がみえるMEDICMEDIA. 慢性期看護論 NOUVELLE HIROKAWA. 患者教育のポイント 医学書院. がん看護 医学書院</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>福島 和代：看護師として病院勤務経験</p> <p>川本起久子：看護師として病院勤務経験</p> <p>杉野由起子：看護師として病院勤務経験</p> <p>島村 美香：看護師として病院勤務経験</p> <p>齊藤 圭子：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画

< 学習段階に応じた目標 >

1. 患者の病態・治療の理解：慢性の疾患は主に生活習慣との関係から徐々に健康を障害していく。生活習慣は環境(自然・社会・文化)の影響を強く受けている。慢性の疾患を有する患者の病態を環境との相互作用の観点から理解できる。
2. 情報収集・看護問題抽出：患者情報を系統的に収集し、慢性の疾患を有する患者の健康障害の程度やセルフケア能力をアセスメントし、看護問題を明確化できる。
3. 看護計画立案：患者と家族の強み(主体的に病気を管理できるようなポジティブな面)を生かした看護計画を立案できる。
4. 看護の実践：患者の安全と治療的環境を維持し、立案した計画に基づいて、家族にも配慮しながら看護を実践できる。退院後の生活を予測して在宅療養に必要なリハビリテーションを理解できる。また社会生活に適応するために患者が主体的に自己管理できるよう家族を含めた援助を行うことができる。
5. 評価：慢性の疾患を有する患者が主体的に病気を管理できるような看護過程が展開できたか評価できる。
6. 倫理的配慮と医療チームの一員としての行動：看護者としての倫理的配慮ができ、医療チームの一員として自己の役割を自覚した行動がとれる。

< 臨地実習計画 >

1週目の主な学習内容	コミュニケーション 情報収集 アセスメント 看護問題 計画の明確化
2週目の主な学習内容	看護介入 計画の修正・追加 評価
3週目の主な学習内容	まとめ 記録整理 事例検討と発表

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	老年看護学実習
時間割コード	0124302301
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	北原 崇靖
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、北原 崇靖

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>実習目的 介護老人保健施設を利用する高齢者の理解を深め健康課題に対するシームレスケアの在り方を学ぶ。</p> <p>実習目標 1. 高齢者の特徴を理解し、受けているケアサービスの目的が理解できる。 2. 高齢者の健康状態及び生活機能から健康課題を抽出し、高齢者及び家族への援助を実践することができる。 3. 施設における高齢者へのケアサービスを理解し、実践することができる。 4. 高齢者の尊厳を守り、意思決定支援の多職種連携・シームレスケアのあり方を学ぶ</p>
履修上の注意事項	<p>1. 実習要項を熟読し、準備段階から主体的かつ積極的に学ぶこと。 2. 実習要項に記載している事前学習(60~120分)を十分に実施しておくこと。 3. 健康には特段の注意をして、実習に臨むこと。 4. 臨地において当日の実習計画(約30分)がないものは実習できない。 5. 実習終了後には、復習(約30分)として老年看護学領域の国家試験過去問題を解いてみること。</p>
評価方法	実習評価表に基づき、老年期の特徴理解(10%)、アセスメント(30%)、社会復帰の理解(5%)、ケアサービスの理解(30%)、職業倫理(25%)の割合で評価する。学生の自己評価についても面談で確認する。
テキスト	老年看護学 ・ で使用したもの
参考文献	<p>1. 老年看護学 ・ の講義において配布した資料および参考文献 2. その他既習のテキスト</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>生野繁子：看護師として病院勤務経験 北原崇靖：看護師として病院勤務経験 山本恵子：看護師、保健師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画
<p>臨地実習2週間を設定している(詳細は実習要項参照)</p> <p>1週目の月 学内オリエンテーション 1週目の火~金 受け持ち利用者の情報収集およびアセスメントとケア施設特性の理解など 2週目 受け持ち利用者の看護計画実施、他施設での学びの共有</p> <p>*COVID-19感染によっては、臨地での実習ができない場合があります。 その際は、随時、キャンパススクエアにて掲示します。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	老年看護学実習
時間割コード	0124302401
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名	
生野 繁子、山本 恵子、北原 崇靖	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>実習目的 介護老人福祉施設におけるケアサービスを通して、施設の利用者への理解を深め、健康課題に対するケアのあり方を学ぶことができる。</p> <p>実習目標 高齢者とのコミュニケーションを図ることができる。施設利用者の家族状況が理解できる。</p> <p>高齢者の健康課題をアセスメントし、必要なケアを安全に実施することができる。高齢者へのケアサービスを理解し、実践することができる(詳細は臨地実習要項参照)</p>
履修上の注意事項	<p>1. 健康には特段の注意をして、実習に臨むこと。</p> <p>2. 高齢者に対する尊厳および臨地実習要項に記載してある実習上の注意などを熟読し主体的かつ積極的に実習に臨むこと。</p> <p>3. 事前学習：臨地実習要項の項目および看護技術など実習に必要な関連科目の復習し実習に臨む(30分)</p> <p>4. 事後学習：実習での学びを各自振り返り、自身の課題を整理し次の実習につなげる(60分)</p>
評価方法	<p>臨地実習要項に掲載している実習評価表に基づいて、コミュニケーション20%、高齢者アセスメント35%、ケアサービス25%、職業倫理20%で評価する。実習期間中に口頭および実習記録にコメントを返します。</p>
テキスト	<p>老年看護学 ・ と同様。</p>
参考文献	<p>1. 老年看護学 ・ の講義において配布した資料および参考文献</p> <p>2. その他既習のテキスト</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>山本恵子：看護師・保健師として病院勤務経験</p> <p>生野繁子：看護師として病院勤務経験</p> <p>北原崇靖：看護師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
<p>臨地実習を以下のように設定している。(詳細は実習要項参照)</p> <p>1週目の月 学内オリエンテーション</p> <p>1週目の火～金 受け持ち利用者の情報収集およびアセスメントとケア 施設特性など</p> <p>2週目 受け持ち利用者の看護計画実施、他施設での学びの共有</p> <p>* COVID-19感染状況によっては、臨地での実習ができない場合があります。 その際は、随時、キャンパススクエアにて掲示します。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	精神看護学実習
時間割コード	0124302701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	日
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	上田 智之
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名	
緒方 浩志、上田 智之	

詳細情報

授業の目的・到達目標	精神障害者とのかかわりを通して、対象者に生じている生活上の困難(生きにくさ)に対する理解を深める。また、セルフケア理論およびストレス理論に基づいたアセスメントによる対象者のセルフマネジメント能力を高める支援方法を理解する。さらに、治療的コミュニケーションをはじめとした精神看護実践能力を身につけることを目的とする。
履修上の注意事項	1.実習要項に沿って学習し、レポートを作成し、実習初日に提出する。 2.精神保健福祉に関する関連法規について事前に学習する。 3.事前に行われるオリエンテーションを必ず受けること。 4.自己の心身の健康管理に努め、実習を休まないように留意する。また、患者の個人情報に関しては看護学生として良識ある行動をとること。
評価方法	実習時間の2/3以上の出席がない場合は評価対象とならない。 実習評価表に基づいて総合的に評価する。
テキスト	精神看護学、の講義で使用したもの。
参考文献	1.精神看護学、で使用した教科書 2.岡田佳詠ほか.認知行動理論に基づく精神看護過程,中央法規,2016. 3.菅間真美.ストレスモデル実践活用術,医学書院,2016.
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上田智之:看護師として精神科病院勤務経験 緒方浩志:看護師として精神科病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>実習期間:2週間</p> <p>実習施設:精神科病院および地域精神関連施設</p> <p>実習配置:各グループを3グループに分け、実習を実施する。 学内日は別途指示した日とする。</p> <p>実習内容:受け持ち患者を1名担当し、看護過程の展開を通して対象理解を深める。 アセスメントおよびケアを焦点化し、看護計画の立案をする。 プロセスレコードを作成し、自己および他者の振り返りを通して自己理解を深める。 地域で生活する対象者の現状と必要な社会資源について理解を深める。 地域における対象者の看護についてリカバリーおよびストレスの視点から理解を深める。</p> <p>詳細は精神看護学実習要項を参照</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	在宅看護学実習
時間割コード	0124305101
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田中 康子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(統合分野)

担当教員情報

教員名
田中 康子、巖 桂子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>1. 在宅看護の介入時期別にある療養者を生活する人としてとらえ、療養者の尊厳を基盤とした援助について理解し、日常生活を支援するための看護に必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。</p> <p>2. 看護の継続性をふまえ、社会資源の活用や他職種との連携を理解し、地域のなかで生活する療養者(家族・介護者)に対する必要なケアを判断する基礎的能力を養う。</p> <p>【個別到達目標 (SBO)】</p> <p>1. 地域における療養者の生活の場(居宅等)の特性について説明できる。</p> <p>1) 療養者の生活の場である住居の内・外における環境(人的・物的)および社会資源について述べる事ができる。</p> <p>2) 在宅療養支援における保健・医療・福祉・介護の専門職者(関連職種・機関等)との連携の必要性を述べる事ができる。</p> <p>3) 療養者の生活の場や看護活動に関連する法律(介護保険法、医療保険制度、障害者総合支援法など)について述べる事ができる。</p> <p>2. 生活の場における療養者(家族・介護者)とのかかわりをとおして、療養者(家族・介護者)の Quality of Life (QOL) を支援することの重要性について説明できる。</p> <p>1) 療養者(家族・介護者)の心理の背景について述べる事ができる。</p> <p>2) 療養者(家族・介護者)の思いや考えについて述べる事ができる。</p> <p>3) 療養者(家族・介護者)と受容・共感するコミュニケーションを図る事ができる。</p>
------------	--

<p>履修上の注意事項</p>	<p>【個別到達目標（SB0）】の続き</p> <p>3．疾病や障害、加齢に伴う変化などをもちながら生活している療養者（家族・介護者）に対する必要な日常生活の援助技術を説明できる．</p> <p>1）療養者の日常生活における生活の機能（疾病や障害、加齢に伴う変化などの状態を含む）について述べるができる．</p> <p>2）看護師に同行し、療養者の健康障害や自立度に応じた援助活動（健康状態の観察、ケア）に参加することができる．</p> <p>3）療養者（家族・介護者）の自律（自立）と依存、適応、内面的な意欲、強みを考慮した援助活動について述べるができる．</p> <p>4）療養者の疾病および障害、加齢に伴う変化に対する基本的ケアについて述べるができる．</p> <p>4．療養者の尊厳を基盤とした援助について説明できる．</p> <p>療養者の自尊心や意思（自己）決定を尊重することについて述べるができる．</p> <p>5．地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉・介護の専門職者（関連職種・機関等）との連携の学びから、今後の地域・在宅サービスや在宅看護の課題について説明できる．</p> <p>1）生活の場における安全管理・感染管理・災害時の対応など地域における看護師の役割を述べるができる．</p> <p>2）地域における他職種の各職種の専門性および他職種との連携の方法について述べるができる．</p> <p>3）地域で生活する人々を取り巻く家族や社会をふまえ、在宅看護の課題について述べるができる．</p> <p>6．看護職者としての基本的態度を身につけることができる．</p> <p>1）主体的に学習し、自己の課題を明確にすることができる．</p> <p>2）報告・連絡・相談、時間厳守（記録類に関してを含む）など自己の行動に責任をもつことができる．</p> <p>3）療養者および家族（介護者）のプライバシーを守ることができる．</p> <p>4）相手の立場を理解し、尊重した態度や礼節（挨拶・言葉遣い・身だしなみなど）をもって接することができる．</p> <p>5）自己の健康管理ができる．</p> <p>6）協調性（リーダーシップ、メンバーシップ）をとることができる．</p>
<p>評価方法</p>	<p>【履修上の注意事項】</p> <p>1．事前および事後学習</p> <p>1）事前学習：</p> <p>実習要項および実習記録を事前に熟読する．講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等において在宅看護学および看護統合演習の振りかえりをおこない、実習の事前に確認する．わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて実習に臨む．</p> <p>配置された実習施設の地域性（地域サービスも含む）、施設の特性等を事前に調べる．</p> <p>2）事後学習：実習終了後に、実習要項を読んで振りかえりを行う．自己の課題を明確にし、講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等にて学習した内容を確認し、実習の事後の学びを深める．</p> <p>【フィードバック】</p> <p>1．個別における指導や面談等を行う．</p> <p>2．実習記録等にコメントを記載する．</p> <p>【評価方法】</p> <p>1．令和3年度在宅看護学実習の実習要項に提示している評価表に基づき評価（100%：100点）を行う．</p> <p>2．1．の結果において、学生便覧の成績評価におけるA、B、Cのいずれかの評価で合格の判定とする．</p>
<p>テキスト</p>	<p>河原 加代子ほか：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論，医学書院．</p> <p>【参考資料】</p> <p>令和2年度在宅看護学の講義で配布した資料や提示した参考文献等．</p>
<p>参考文献</p>	<p>随時提示</p>
<p>実務経験のある教員による授業</p>	<p>有</p>

詳細情報

<p>実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容</p>	<p>田中 康子：看護師として病院に勤務の経験有り 巖 桂子：保健師および看護師として病院に勤務の経験有り</p>
-------------------------------------	--

授業計画

<p style="text-align: center;">授業計画</p>
<p>【概要】 地域のなかで疾病や障害、加齢に伴う変化などをもちながら生活している療養者を身体的、精神・心理的、社会的側面からとらえ、在宅看護の介入時期別にある療養者（家族・介護者）の生活の支援に必要な援助、社会資源の活用や他職種との連携、療養者の尊厳を基盤とした援助について理解し、在宅看護に必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。</p> <p>【展開】 訪問看護ステーションおよび医療施設内（訪問看護室等）における臨地および学内実習の2週間を設定する。</p> <p>【配置】 実習におけるグループごとに、各施設に約4名の学生を各週において2名ずつ配置し実習を実施する。</p> <p>【スケジュール：臨地および学内をあわせて2週間である】 1. 実習オリエンテーションについて、実習期間の1日目におこなう。 2. 実習期間内の祝祭日にて、下記の内容において変更の可能性ある。 3. 1週目学内と2週目臨地の内容について、1週目臨地と2週目に学内の内容を反転する。 4. 施設において、臨地の日程に変更の可能性ある。</p> <p>【フィードバック】 ・個別における指導や面談等を行う。 ・実習記録等にコメントを記載する。</p> <p>実習1週目 （学内）月曜日 1日目：実習オリエンテーション（実習施設の確認、訪問看護についての動画視聴、事前学習および課題の確認、援助技術の確認等） （臨地）火曜日 2日目 - 木曜日 4日目：実習施設において訪問看護師同行、カンファレンス等 （学内）金曜日 5日目：実習施設での学びの振り返りおよび学びの共有等</p> <p>実習2週目 （学内）月曜日 6日目 - 水曜日 8日目： ・看護師同行で訪問した療養者の生活の機能（疾病や障害、加齢に伴う変化などの状態を含む）をICFの生活分類で記載する。 ・看護師同行で訪問し参加した援助についての振り返りを行う。 ・多職種連携についての動画を視聴する。他職種の各職種の専門性を調べて、地域における連携の学びを深める。 （学内）木曜日 9日目：本実習における学生同士の学びの共有等。 （学内）金曜日 10日目：実習のまとめ、実習記録の提出。</p> <p>【事前および事後学習】 1)事前学習 (1)実習要項および実習記録を事前に熟読する。講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等において在宅看護学および看護統合演習の振り返りをおこない、実習の事前に確認する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて実習に臨む。 (2)配置された実習施設の地域性（地域サービスも含む）、施設の特性等を事前に調べる。 2)事後学習 実習終了後に、実習要項を読んで振り返りを行う。自己の課題を明確にし、講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等にて学習した内容を確認し、実習の事後の学びを深める。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
<p>該当するデータはありません</p>			

基本情報

科目名	母性看護学実習
時間割コード	0124303001
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	大橋 知子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目(専門分野)

担当教員情報

教員名
牛之濱 久代、大橋 知子、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業の目的：母性看護学で学んだ知識、技術を統合し、周産期における母子と家族に対し、身体的・心理的・社会的特性を理解し、個別的な看護を実践するための基礎的能力を養う。また、リプロダクティブヘルス/ライツの観点から、周産期における女性および子ども・パートナーの生涯を通じた健康支援の必要性と看護について考察する。</p> <p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周産期の母子と家族の身体的・心理的・社会的特性を理解し、各期の適応の過程を明らかにすることができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の生理を述べることができる。 2) 対象者の身体的・心理的・社会的特性を記述できる。 2. 周産期の母子とその家族のニーズを明らかにし、安全・安楽を考慮したケアを見学もしくは実践し、評価できる。 3. 母子と家族の健康に関わる看護者の役割と責任を自覚した行動をとり、母子保健医療チームメンバーとして連携・協力する方法を考察できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 生命の尊厳や対象者の尊重について認識を深め、倫理的配慮を持った態度と行動がとれる。 2) 周産期の母子とその家族を取り巻く社会システムおよび地域社会におけるサポート資源と妊娠期からの包括的な継続看護の必要性について考察できる。 3) 母子保健医療チームメンバーとして適切な人間関係を作り、報告・連絡・相談ができる。 4) グループの中でリーダーシップ、メンバーシップを発揮し、協力することができる。 5) 看護学生として基本的な行動がとれる(挨拶、言葉遣い、身だしなみ、時間を守ることなど)。 4. 自己の学習過程を振り返り、今後の学習課題を明らかにすることができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己の行動や気持ちを振り返り、記録やカンファレンスなどで表現できる。 2) 今後の学習課題について述べるができる。
履修上の注意事項	<p>事前学習課題として、ワークブック(一人の妊婦の妊娠期から産褥期までの経過を追った看護の問題集)、実習で実施する母性看護術(妊産褥婦及び新生児の健康アセスメント、沐浴・清拭、妊婦健診、NSTなど)についても事前に十分演習を行い、手順書を作成の上、実習に備えてください。</p> <p>事後学修として、看護師国家試験問題周産期 事例問題に取り組むこと</p>
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習目的・目標の達成度(役割理解、看護実践・記録、課題の明確化)80% 2. 実習態度(予習・復習、主体性・積極性、カンファレンス参加状況、記録物の内容及び提出状況)20%実習内容に対するフィードバックは、カンファレンス、評価面接時に行います
テキスト	<p>系統看護学講座『母性看護学概論, 母性看護学』医学書院、系統看護学講座『母性看護学各論, 母性看護学』医学書院、系統看護学講座『女性生殖器, 成人看護学』医学書院</p>
参考文献	<p>『根拠と事故防止からみた母性看護技術』『写真でわかる母性看護技術アドバンス』『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護学』『ウエルからみた母性看護過程』『病気がみえる』</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>牛之濱 久代：看護師、助産師として病院勤務経験 大橋 知子：看護師、助産師として病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画

- 1) 実習期間および実習時間
 期間：2021 年7 月初旬～2022 年2 月中旬
 時間：9：00～15：30（実習施設により異なる）
- 2) 実習施設：地域子育て支援センター（1週間）、周産期の対象者を受け持つことが可能な病棟（1週間）
- 3) 学内日と臨地実習：学内：月、水曜日、 臨地：火、木、金曜日（但し、祝日がある場合はこの限りではない）
- 4) 実習方法
 (1) 事前学習：母性看護学実習ワークブック、看護過程事例の加筆、修正を行い母性看護に必要な知識を復習しておく。
 母性看護技術について自己練習しておく。
 (2) 事後学修：毎日、日々の記録実施評価を記載する。（毎日2時間）看護師国家試験母性事例設定の問題に取り組む。（最終日2時間）
- 5) 実習内容
 (1) 病院実習の概要：
 病棟の特性や対象者の特性を理解し、同意の得られた対象者に行われる援助を見学・一部実施を行う。
 最終日カンファレンスで実習のまとめを行い、自己の学習課題を明確にする。
 (2) 地域子育て支援事業所の概要：
 施設を利用している両親および子どもに行われているサポートをスタッフまたはボランティアスタッフとともに見学または実践する。
 機会があれば事業所で行われている教室（両親学級、ベビーマッサージ教室等）を見学する。
 最終日カンファレンスで実習のまとめを行い、自己の学習課題を明確にする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	看護科教育法
時間割コード	0124900701
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 「看護」に興味を持ち、主体的な学習を継続できるようになるための教授 学習過程を考える。 2. 看護者・教育者としての資質を高めるために必要な自己の課題を明らかにする。 3. 「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を身につける。
履修上の注意事項	講義のほかにそれぞれが課題をもって取り組む課題学習、グループ学習・発表を行い、教育者として必要な能力について学ぶ。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習は事前に各自が行なってくる。課題の提出は予習でもあるので、必ず課題レポートを作成すること。また必要に応じてレポート提出を復習として課すことがある。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況(小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表)：40%
テキスト	『看護教育学 第4版』杉森みど里・舟島なをみ(医学書院)、『高等学校学習指導要領解説 看護編』
参考文献	必要に応じて指示し、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	柴田恵子：看護教諭として実務経験

授業計画

授業計画	
<p>高校看護の教員を目指すうえで必要な知識・技術・態度を学習する。授業展開に必要な学習については、課題学習および演習に取り組む。基本的な看護の知識を復習することで、教員として教授するための知識・技術の習得を目指す。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護教育について学習した知識を確認する	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。キャンパススクエアで事前学習は確認する。	
2	看護教育制度の特徴	事前学習は看護学概論の教科書を基にレポートを作成する。	
3	看護教育制度の変遷	事前学習は教科書の該当箇所を読む。事後学習は、前回のレポートの補足・修正である。	
4	看護基礎教育課程とその変遷	事前学習は教科書の該当箇所を読む。事後学習は教育課程の特徴を整理する。	
5	高校看護に関する基礎知識	事前学習は高校看護について調べる。事後学習は高校看護の歴史変遷をまとめる。	
6	高校看護における教授・学習活動	事前学習は教科書の該当部分を読む。事後学習は教授法についてまとめる。	
7	高校看護における評価	事前学習は教育評価について調べる。事後学習は授業計画と評価についてまとめる。	
8	課題学習の報告：教授法-実習における教材化-	事前学習は教具・教材について調べる。課題学習の発表準備をする。	

授業計画

高校看護の教員を目指すうえで必要な知識・技術・態度を学習する。授業展開に必要な学習については、課題学習および演習に取り組む。基本的な看護の知識を復習することで、教員として教授するための知識・技術の習得を目指す。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	授業展開の基礎	事前学習は授業の成立について調べる。事後学習は授業展開の要素についてまとめる。	
10	授業展開の実際	事前学習は授業展開について講義・演習・実習に分けて調べる。事後学習は授業展開における注意点をまとめる。	
11	授業展開と授業評価	事前学習は講義の授業展開計画案を作成する。事後学習は計画案の補足・修正をする。	
12	教育実習の実際	事前学習は教育実習について調べる。事後学習は教育実習についてレポートを作成する。	
13	学習指導要領の理解	事前学習は学習指導要領について調べる。事後学習は学習指導要領を基に教育についてまとめる。	
14	学習指導要領：高校看護の理解	事前学習は高校看護の学習指導要領を読む。事後学習は高校看護の特徴を明らかにする。	
15	グループ討議と発表：職業教育-看護-	事前学習は職業教育について発表ができるように準備する。事後学習は発表を基に、準備した内容を補足・修正する。	

基本情報

科目名	看護科教育法
時間割コード	0124900801
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

詳細情報

授業の目的・到達目標	教壇実習で必要となる授業展開の実際について、模擬授業を実施することで習得する。講義、演習、実習で必要となる授業展開を理解する。看護科教育法の学習を通して、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につけた教員を目指すための自己の課題を明らかにする。
履修上の注意事項	看護科教育法 を履修済みであること。看護科教育法 の履修を基にした授業展開を行なう。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習は事前に各自が行なってくる。授業では前回の復習を行い、本時の内容と継続させながら学習をする。課題の提出は予習でもあるので、必ず課題レポートを作成すること。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度（レポート提出状況、レポート内容、グループ討議時の発言状況）：40%
テキスト	第1学期に購入したテキストを引き続き使用する。『看護教育学 第5版』杉森みどり・舟島なをみ（医学書院）、『高等学校学習指導要領解説 看護編』
参考文献	必要に応じて指示し、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	柴田恵子：養護教諭として実務

授業計画

授業計画	
事前学習は教科書の該当箇所を読む。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、夏季休業中の課題を発表することで報告する	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	指導案の構成要素の確認	事前学習は指導案の構成要素を復習する。 事後学習は構成要素の記述方法について確認する。	
3	看護臨床実習指導の基礎知識	事前学習は臨床看護実習について教科書を読む。事後学習は臨床実習における指導の注意点を記録する。	
4	看護臨床実習指導：週案、日案の確認	事前学習は実習における指導計画について調べる。事後学習は週案・日案の特徴をまとめる。	
5	模擬授業の知識、技術の確認	事前学習は模擬授業案を作成する。事後学習は作成した模擬授業案の修正である。	
6	模擬授業の実際	事前学習は模擬事業案を基に授業展開をイメージする。事後学習は実施した模擬授業についての気づきをまとめる。	

授業計画

事前学習は教科書の該当箇所を読む。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	模擬授業の評価	事前学習は模擬授業の評価について調べる。事後学習は模擬授業の評価の気づきをまとめる。	
8	教育実習の報告会から教壇実習について考える	事後学習は教壇実習に向けての自己の課題を明らかにする。	
9	グループ討議：模擬授業	事前学習は模擬授業の実施について意見をまとめる。事後学習はグループ討議での気づきをまとめる。	
10	指導案の評価と修正	事前学習は模擬授業案の作成である。事後学習は作成した模擬授業について自身の評価を行ない修正する。	
11	指導案作成のまとめ	事後学習は指導案作成から実施・評価の一連の流れにおいて、自身の課題となったことをまとめる。	
12	看護臨床実習の指導計画案作成	事前学習は臨床看護実習の指導案を作成する。事後学習は看護臨床実習指導案作成時の注意点を整理する。	
13	看護臨床実習の評価と修正	事後学習は、看護臨床実習における指導において、自己の課題を明らかにする。	
14	グループ討議：職業教育-看護-における教授・学習活動	事前学習は討議課題を確認し意見を準備する。事後学習は次回の発表準備をする。	
15	グループ発表：職業教育-看護-における教授・学習活動	事後学習は高校生の職業教育のあり方についての考察をレポートにする	